

歳出予算事業概要書

款 項 目	01 議会費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	5001000000			
					うち復活額	一般財源						
01	議会費	6,957	6,911	6,612	6,262	0	0	所属課名	議会事務局			
01	議会費							内線番号				
001	議会報発行事業							実施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額	
000									章	『市役所』がいいき		
000									節	市民に信頼される市役所づくり		0
0									細節	市民との協働		
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
			0	0	0	0	6,262					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
(1)事業概要 市議会定例会後「よなご市議会だより」を発行し、自治会経由で全世帯へ配布する。					区分			金額		財源 款 項 目 節 細節		金額
(2)事業効果 本会議を傍聴することができない市民に対しても、本会議の議論の概要、審議の結果等を知らせることができ、議会に対する理解を深め、関心を引き起こすことができる。					11 需用費			6,262				
					13 委託料							
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果												
(1)事業計画 「よなご市議会だより」の発行 (年4回定例会後に発行) 発行部数 各51,500部												
6. 財源の説明												
(1)財源の説明 一般財源												
(2)事務事業評価の反映状況 評価結果・・・現状維持 議会の活動状況を広く知らしめるために議会報の発行を継続する												
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 103000000	所属課名 職員課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 中 小 細	024 職員研修事業 00 00 0	12,328	10,451	12,105	11,612	0	0						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	財源内訳		0	0	0	4,217	7,395						
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業の概要 (1) 一般研修 現業職員研修等 (2) 特別研修 政策形成講座、政策分析・評価講座、政策法務講座等 (3) 派遣研修 国土交通大学、市町村中央研修所、先進地視察等 (4) 自主研修 通信教育、個人研修					区分			金額					
事業の必要性 市町村の合併を通じて地方の再編が進展しつつある現在、地方行政における人材育成の中心的施策である職員研修へのニーズは従来にまして高まりつつある。このような状況下本市では研修を通じて、複雑化・多様化する公務を適正に執行する基本的資質のほか、人権擁護や環境保全といった行政課題、住民参画や情報公開といった政策的課題に的確に対処できる幅広い知識・技能の開発を進め、それら社会的ニーズに応えていくものとする					8	報償費	200	財源	款	項	目	節	金額
					9	旅費	7,509	諸収	21	03	03	029	4,217
					11	需用費	43	職員研修費補助金					
					12	役務費							
					13	委託料	786						
					14	使用料及び賃借料	1,731						
					19	負担金補助及び交付	1,343						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
一般研修 公務員として年齢・階層に応じて必要となる基礎的知識を修得する。													
特別研修 公務の執行に必要となる専門的知識や政策課題・行政課題への実践的対応を修得する。													
派遣研修 政策の企画・立案や複雑な事業の実施に必要な専門的かつ高度な知識や技能を修得する。													
自主研修 自らの業務の範疇を超え、公務員としての幅広い知識や技能を修得する。													
6. 財源の説明													
事務事業評価(1次評価)													
現状維持(市が独自で企画するもの)													
2次評価 効率化・改善													
時代のニーズに合わなくなった研修内容を取り止め、新たな能力として職員が身に付けなければならないノウハウを取り入れるなど、研修内容の刷新を図る必要がある。													
事務事業評価(1次評価)													
現状維持(派遣研修)													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	6001000000						
項	01 総務管理費							所属課名	振興課						
目	09 企画費	3,504	0	22,188	20,343	0	0	内線番号							
大	126 淀江地区CATV管理運営事業							実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額				
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき					
小	00		0	0	0	17,741	2,602		節	交流と連携を育むまちづくり					
細	0		0	0	0	17,741	2,602		細節	高度情報化の推進					
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業の概要 淀江町地区に拡張整備する中海テレビ放送のCATV網の管理運用については、運用コスト、サービス面、技術革新への対応面から、放送・通信事業者である中海テレビ放送とIRU契約を締結し、ケーブル網及びサブヘッドエンド機器の管理運営を委託する。					節		本年度の財源内訳								
					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額	
					11	需用費	1,310	その	21	03	03	03	151	17,741	
					12	役員費	129								
					13	委託料	15,714								
					14	使用料及び賃借料	3,190								
2. 根拠法令 地方自治法、電気通信事業法、有線電気通信法															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 専門的な中海テレビ放送の管理運営により、淀江町地区への安定した放送配信、高速インターネット、IP電話の利用を可能にする。また中海テレビ放送への加入促進を図り、IRU利用料の増収を図る。 〔IRU契約〕 「破棄し得ない使用权」の略であり、関係当事者の合意がない限り破棄または終了することができない長期安定的な使用权（原則10年以上）のことである。地方公共団体が、電気通信事業者とIRU契約を行うことにより、光ファイバ等を芯線単位で貸与するものであり公共施設として整備した光ファイバ網（未利用）を柔軟に運用する（民間委託等）ことを目的としている。 IRU契約を締結することにより光ファイバ等を貸し付ける場合は、借り手である電気通信事業者が電気通信回線設備を支配・管理するものとして規律されることとなり、貸し手である設備の所有者（地方公共団体）は、電気通信事業法・有線電気通信法（昭和28年法律第96号）の規定に基づく登録または届出等を行う必要はない。 加入者見込み 63.1%（H19.3末）															
6. 財源の説明 1 財源の内訳 IRU利用料として、中海テレビ放送から徴収する。 2 事務事業評価の反映状況 CATV整備事業に同じ															
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	501000000				
					うち復活額	一般財源	所属課名	企画課					
		0	0	2,689	1,331	0	0	内線番号					
大 中 小 細 事業	130 00 00 0	中心市街地活性化基本計画策定業務						実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき			
			0	0	0	0	1,331		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ			
			0	0	0	0	0		0	0		節	商業の活性化
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業の必要性 米子市中心市街地活性化計画は、平成11年3月の策定から7年経過し、この間の社会・経済情勢の変化や事業の進捗状況を反映した基本計画を、平成18年度に改訂することとしていたが、国のまちづくり三法の見直しもあり、国の認定に向けて策定作業を進める必要があることから、平成19年度に策定することとした。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
事業の概要 ・計画の見直しについて審議する検討委員会の開催 ・中心市街地活性化にかかる市民意向調査 ・中心市街地通行量調査 ・新基本計画の策定及び冊子の作成					1	報酬	320						
					8	報償費	0						
					9	旅費	210						
					11	需用費	467						
					12	役務費	150						
					13	委託料	184						
					14	使用料及び賃借料	0						
2. 根拠法令 中心市街地の活性化に関する法律													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 地域の実情を反映させ実効性が高まるよう、また、国の認定に沿った形での基本計画を見直し、策定することによって、国の有利な財政支援を受けられ、効果的に中心市街地の活性化を図ることができる。													
6. 財源の説明													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 17 人権啓発費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	調整結果額		所属課コード 701000000	所属課名 人権政策課	内線番号			
						うち復活額	一般財源						
大 中 小 細	005 00 00 0	30,182	29,522	33,509	33,347	0	0						
005 人権教育推進員等設置事業			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			実施計画計上額			
財源内訳			0	16,404	0	0	16,943			0			
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳					
(1) 事業目的 同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する教育啓発活動の推進を図るため、人権教育推進員を配置するもの								区分		金額			
								1 報酬		25,316		都道	
(2) 事業内容 人権教育推進員(非常勤職員)を10名配置								4 共済費		3,711		鳥取県市町村交付金	
								8 報償費		3,860			
(3) 事業効果 人権教育の推進を図ることができる								9 旅費		354			
								11 需用費		46			
2. 根拠法令 米子市人権教育推進員の設置及び運営に関する規則								13 委託料		60			
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 事業計画 人権問題に係る学習機会の拡充 人権問題に係る学習内容の充実 人権問題に係る学習の支援 人権問題に係る学習に関する調査及び研究 企業における同和問題をはじめあらゆる人権問題に係る啓発を推進 人権情報センターに関する事務								6. 財源の説明					
								(1) 財源の説明 人件費 非常勤職員10名分 活動費(旅費) 全国集会等参加資料代 健康診断委託料					
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 18 諸費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 503000000	所属課名 市民参画課	内線番号
					うち復活額	一般財源				
大 中 小 細 事業 事業 事業 事業	019 00 00 0	14,000	3,000	10,000	7,000	0	0			
コミュニティ施設整備事業			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
財源内訳			0	0	0	0	7,000			
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳		
(1) 事業の概要								区分		
コミュニティ活動の基盤となるコミュニティ施設の整備事業を行う自治会等に対し、補助金を交付する。								金額		
ア 補助の対象 集会所の建設、有線放送設備の建設、スポーツ広場の建設								19 負担金補助及び交付 7,000		
(2) 事業効果								財源		
コミュニティ施設の整備によって、自治会活動やコミュニティ活動の活発化が期待され、住民同士のふれあいのある明るく住みよい地域社会の実現に繋がる。								款		
2. 根拠法令								項		
米子市コミュニティ施設整備事業補助金交付要綱								目		
3. 用地の状況								節		
4. 基本計画との関連								金額		
5. 本年度の計画効果								節		
(1) 事業計画								金額		
平成19年度事業着手分								19 負担金補助及び交付 7,000		
ア 補助金の基準 補助対象経費の20%、上限額300万円										
イ 対象事業者及び補助金額										
(ア) 事業計画有分 19自治会										
7,000,000円										
6. 財源の説明										
(1) 財源内訳										
一般財源による										
(2) 事務事業評価の反映状況										
評価結果...現状維持										
目的別										
性質別										

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 18 諸費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	503000000				
					うち復活額	一般財源	所属課名	市民参画課					
		6,422	6,422	6,356	6,190	0	0	内線番号					
大 中 小 細 事業	025 00 00 0	ボランティア活動支援交付金			地方債	その他	一般財源	実 施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額		
		財源内訳	国庫支出金	県支出金					章	『市役所』がいきいき			
			0	0	0	0	6,190		節	市民に信頼される市役所づくり			
									細節	市民との協働			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
(1) 事業の概要 住みよいまちづくりのため、住民が主体となって取り組んでいる環境美化や青少年の育成、交通安全の推進などの活動を支援するよう、これらの活動を推進している団体に対し米子市ボランティア活動支援交付金を交付する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
(2) 事業の必要性 住民が主体となって取り組むまちづくり活動の推進を図るため支援が必要である。					19	負担金補助及び交付	6,190						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 事業計画 米子市ボランティア活動支援交付金の交付 住みよいまちづくりの推進のため、ボランティア活動を実施している7団体に交付する。													
ア 米子市交通安全えがおの会(交通安全推進活動)													
イ 地区高齢者交通事故防止推進協議会(交通安全推進活動)													
ウ 米子市環境をよくする会(環境美化活動)													
エ 加茂川を美しくする運動連絡協議会(環境美化活動)													
オ 米川堤防のつつじを育てる会(環境美化活動)													
カ 青少年育成米子市民会議(青少年健全育成活動)													
キ 福市遺跡公園のつつじを育てる会(環境美化活動)													
(2) 事業の効果 住民が主体となって取り組むまちづくり活動の推進に繋がる。													
目的別 性質別					6. 財源の説明 (1) 財源 一般財源 (2) 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持								

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	503000000			
項	01 総務管理費							所属課名	市民参画課			
目	18 諸費	2,235	2,235	2,117	2,115	0	0	内線番号				
大	057 まちづくり活動支援事業							実施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額	
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいいき		
小	00		0	0	0	0	2,115		節	市民に信頼される市役所づくり		
細	0		0	0	0	0	0		0	細節		市民との協働
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
(1) 事業の概要					区分		金額		財源 款 項 目 節 細節			金額
住みよいまちづくりのため、環境美化や社会福祉活動、防犯活動、交通安全の推進等の自主的なまちづくり活動を行うために市民が構成員となり設立したボランティア団体やNPO団体等に対し、米子市まちづくり活動支援交付金を交付する。					1	報酬	112					
(2) 事業の必要性					11	需用費	3					
市民主体によるまちづくりを進める中で、様々な分野で市民活動が数多く生まれ、積極的に活動することができ、地域や社会の課題解決に向けた主体的なまちづくりに取り組む気運を高めるため支援が必要である。					19	負担金補助及び交付	2,000					
2. 根拠法令												
米子市まちづくり活動支援交付金交付要綱												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明							
(1) 事業計画					事務事業評価		現状維持					
交付金の助成内容												
ア 助成金額 対象事業費の2/3以内で、1団体当たりの上限は20万円												
イ 助成制限 同一年度において、国県市等から他に助成を受けていないこと。												
ウ 対象団体 まちづくり活動を行うことを目的として活動している団体												
交付金の公募・審査												
ア 公募 助成を希望する団体を公募する。												
イ 審査 事業企画書に基づき、公開審査会を行う。												
ウ 決定 審査結果に基づき、予算の範囲で助成団体を決定する。												
(2) 事業の効果												
地域課題の解決やまちづくりの推進のために、市民が自主的に取り組むまちづくり活動の育成と継続的な活動の展開につながる。												
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5201000000								
項	04 選挙費							所属課名	選挙管理委員会事務局								
目	02 県知事県議会議員選挙費	21,091	22,863	54,882	54,619	0	0	内線番号									
大	001 県知事県議会議員選挙							実 施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額						
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいきいき							
小	00		0	54,619	0	0	0		節	市民に信頼される市役所づくり	0						
細	0								細節	市民との協働							
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳									
<p><事業目的・背景> 平成19年4月8日執行予定の鳥取県知事・県議会議員一般選挙を行う。</p> <p><事業概要> 事業内容 選挙公報発送 期日前投票受付(米子市役所本庁舎、淀江支所) 不在者投票受付 (米子市役所本庁舎、淀江庁舎) 個人演説会場受付 投・開票所の設置及び投・ 開票事務 事業効果 公正で効率的な選挙の管理執行を行うことにより、市民の意見を県政に反映させる ことができる。</p>					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額				
					1	報酬	3,707	都道	16	03	01	03	002		54,619		
2. 根拠法令					3	職員手当等	19,960	鳥取県知事県議会議員選挙費委託金									
					7	賃金	3,873										
3. 用地の状況					9	旅費	20										
					11	需用費	3,782										
4. 基本計画との関連					12	役務費	8,827										
					13	委託料	11,867										
5. 本年度の計画効果					14	使用料及び賃借料	966										
					18	備品購入費	1,617										
<p><事業計画> 期日前投票所の受付及び選挙人名簿手入れ、ポスター掲示場の保守及び撤去、選挙公報の 送付、個人演説会の受付及び会場借料支払い、投・開票所の設置及び選挙事務並びに撤去 米子市選挙区選挙会の開催 鳥取県知事・鳥取県議会議員一般選挙執行 平成19年4月8日(日) 鳥取県議会議員定数 38名のうち 米子市選挙区 9名 期日前投票の受付場所(米子市役所本庁舎及び米子市淀江支所の2ヶ所) ポスター掲示場 315箇所 選挙日投票所(44ヶ所) 任期満了日 鳥取県知事 平成19年4月11日 鳥取県議会議員 平成19年4月29日</p>					6. 財源の説明												
					<p>執行経費 鳥取県支出金の選挙委託金(10/10)にて管理執行 事務事業評価 実施</p>												
目的別																	
性質別																	

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 04 選挙費 03 参議院議員選挙費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 5201000000	所属課名 選挙管理委員会事務局	内線番号				
					うち復活額	一般財源								
大 事 業	001 参議院議員通常選挙	0	0	62,989	62,642	0	0							
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	みんなのための市役所 『市役所』がいきいき 市民に信頼される市役所づくり 市民との協働	実施計画計上額				
小 事 業	00									0	0	0	0	0
細 事 業	0									0	62,642	0	0	0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
<事業目的・背景> 任期満了に伴う参議院議員通常選挙を行う。 <事業概要> 事業内容 ポスター掲示場の設置等 投票所入場券発送 選挙公報発送 選挙人名簿作成 期日前投票受付 不在者投票受付 個人演説会会場受付 投・開票所の設置及び 投・開票事務 事業効果 公正で効率的な選挙の管理執行を行うことにより、市民の意見を国政に反映させることができる。					区分		金額		財源					
					1 報酬		4,184	都道		16 03 01 03 005		62,642		
2. 根拠法令 公職選挙法					3 職員手当等		23,811	参議院議員選挙費委託金						
					7 賃金		10,474							
3. 用地の状況					9 旅費		27							
					11 需用費		4,468							
4. 基本計画との関連					12 役務費		10,144							
					13 委託料		6,399							
5. 本年度の計画効果 <事業計画> 投票管理者・立会人等の選任、選挙事務従事者等の選任、臨時職員の雇用、ポスター掲 示場の設置及び保守管理並びに撤去、選挙人名簿の調製、期日前投票所の設置及び受付並び に選挙人名簿の手入れ、選挙公報送付、個人演説会の受付及び会場借料の支払い、投・開 票所の設置及び事務従事並びに撤去 参議院議員通常選挙の執行予定 平成19年7月 期日前投票所を2ヶ所設置(米子市役所本庁舎、米子市淀江支所) 投票所の設置 44ヶ所 参議院議員定数 鳥取全県区 2名(6年の任期で3年ごとに1名改選) 任期満了日 平成19年7月28日					14 使用料及び賃借料		1,287							
					18 備品購入費		1,848							
6. 財源の説明 執行経費 鳥取県を通じて選挙費委託金(10/10)にて管理執行する。 事務事業評価 実施														
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 民生費 01 社会福祉費 03 障がい者福祉費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1506000000	所属課名 障がい者支援課	内線番号				
					うち復活額	一般財源								
大 中 小 細 事業	059 居宅介護給付事業(地域生活支援)	0	0	70,780	57,815	0	0							
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			実施計画計上額				
			0	36,728	0	0	21,087			0				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
<p>単独で外出することが困難な在宅の重度障がい者に対し、外出時の付添い等の移動支援を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を促進し、もって障がい者の福祉の増進を図る。</p> <p>日中一時支援の利用を希望する障がい者の申請を受付・審査して、支給を決定し、その者と契約しサービスを提供した事業所に対して支給決定の範囲内で支払を行うことにより、障がい者の地域生活を支援する。</p> <p>障がい程度区分の判定で非該当と判定され、介護給付のサービスを受けられない障がい者に対し、生活サポート事業により必要な支援を受けることで福祉の増進を図る。</p>					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
					20 扶助費	57,815	都道	16	02	02	01	061	11,072	
2. 根拠法令								都道	16	02	02	01	061	25,656
3. 用地の状況								地域生活支援事業費等補助金(1)						
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
<p>ガイドヘルパーの派遣により、社会経済活動への積極的な参画を支援することができる。</p> <p>地域での生活を希望する障がい者に対して、生活の場や必要な援助を確保することにより、障がい者の地域生活を支援し、障がいのある人もない人も、共に社会で生活するというノーマライゼーションの理念の実現を促進する。</p>														
6. 財源の説明														
<p>県支出金</p> <p>移動支援分 3 / 4 補助</p> <p>日中一時支援分 3 / 4 補助</p>														
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 01 03	民生費 社会福祉費 障がい者福祉費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1506000000				
						うち復活額	一般財源							
大 中 小 細	060 00 00 0	身体障がい者援護施設支援費支給事業	304,822	304,822	270,892	270,892	0	0	所属課名	障がい者支援課				
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	内線番号					
				135,445	67,722	0	0	67,725						
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳					
<p>事業内容 身体障害者更生援護施設等に対して、支給決定の範囲内で、入所又は通所している身体障がい者に係る支援費を支払う。</p> <p>事業効果 身体障がい者が身体障害者更生援護施設等に入所又は通所して個々の障がい程度やニーズに応じた日常生活・職業に係る訓練や援護を受けることにより福祉の増進が図れる。</p>						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額
						20 扶助費		270,892		国庫		15 01 01 01 002		身体障害者保護費負担金
								都道		16 01 02 01 006		身体障害者保護費負担金		67,722
2. 根拠法令														
障害者自立支援法														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
<p>支援費基準の範囲内で、身体障害者施設(入所、通所)を利用する身体障がい者に係る施設訓練等支援費を支給する。</p> <p>利用施設数 13施設 利用者見込数 99名</p>														
6. 財源の説明														
						<p>(国庫支出金) 270,892千円 × 1/2 = 135,446千円 (県支出金) 270,892千円 × 1/4 = 67,723千円</p> <p>事務事業評価の反映状況 評価結果 現状維持</p>								
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 民生費 01 社会福祉費 03 障がい者福祉費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1506000000	所属課名 障がい者支援課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 事 業	079 地域活動支援センター運営事業	0	4,500	21,798	18,198	0	0								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	子育てを支援し、お年寄りが元気な 『ひと』がいきいき 安心して健やかにくらせる健康と福 障がい者の自立と社会参加の推進	実施計画計上額 0					
小 事 業	00										0	0	8,150		
細 事 業	0										0	10,048	0	0	8,150
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
事業の概要 障がい者等が通い地域の实情に応じた創作的活動又は生産活動を行う機会を提供し、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの基礎事業に加え、専門職員を配置し医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化、普及啓発等の事業、機能訓練、社会適応訓練、一定数以上の小規模作業所の支援等を行う機能強化事業に対し運営費を補助する。 事業効果 障がい者等の生活意欲の向上が図られるとともに、ノーマライゼーションの理念に基づいた障がい者等の自立と社会参加を促進する。また、地域住民が障がい者等と交流することで市民の障がい者等に対する理解を深めることができる。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
					19	負担金補助及び交付	18,198	都道	16	02	02	01	005	小規模作業所運営費補助金	
2. 根拠法令 障害者自立支援法第77条									都道	16	02	02	01	061	2,848
															地域生活支援事業費等補助金(1)
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
事業計画 地域活動支援センターの基礎事業と機能強化事業を合わせて実施する法人格を有する民間福祉団体等への補助事業として実施															
6. 財源の説明															
【機能強化事業】															
3 / 4 補助															
【基礎事業】															
1 / 2 補助															
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	03	民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1506000000											
項	01	社会福祉費							所属課名	障がい者支援課											
目	03	障がい者福祉費	0	0	716,567	685,069	0	0	内線番号												
大事業	083	知的障がい者援護施設支援費支給事業							実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な		実施計画計上額								
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき										
小事業	00			342,534	171,267	0	0	171,268		節	安心して健やかにくらす健康と福										
細事業	0									細節	障がい者の自立と社会参加の推進										
										0											
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳												
事業の概要 知的障害者更生援護施設等に入所又は通所している知的障がい者及び精神障がい者について、施設に対して支給決定の範囲内で訓練等給付費を支払う。						区分			金額		財源			款		項目		節		金額	
事業効果 知的障がい者及び精神障がい者が、知的障害者更生援護施設等に入所又は通所して個々の障がい程度やニーズに応じた日常生活・職業に係る訓練や援護を受けることができるよう、施設訓練等給付費を支給することによって福祉の増進を図れる。						12 役務費			685,069		国庫		15 01 01 01 005						342,534		
						20 扶助費					都道		16 01 02 01 007				知的障害者援護費負担金				
2. 根拠法令 障害者自立支援法																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
施設利用者数 援護施設(31か所) 知的障がい者 277名 精神障がい者 55名 通勤寮(1か所) 知的障がい者 7名																					
前年度当初予算額 593,741千円 前年度現計予算額 593,741千円																					
6. 財源の説明																					
1 財源内訳 (国) 1/2補助 (県) 1/4補助																					
2 事務事業評価の反映状況 評価結果 現状維持																					
目的別 性質別																					

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 01 06	民生費 社会福祉費 老人福祉費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1504000000					
						うち復活額	一般財源	所属課名							
			11,332	11,332	11,581	12,243	0	0	長寿社会課						
大 中 小 細	027 00 00 0	老人福祉センター運営委託事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	内線番号	実施計画計上額					
				0	0	0	5,266	6,977							
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳							
<p>事業の概要 地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営んでもらうことを目的とする。</p> <p>事業効果 陶芸・木彫講座の開催及び各種教室開催のための教養娯楽室の提供により、趣味、教養レクリエーションを通じた生きがいづくりができ、また、浴室の利用により、健康の増進に寄与できる。</p>						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額	
						12	13	15	使用	14	01	02	01	010	102
									使用	14	01	02	01	011	5,164
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明									
<p>事業計画 (1) 高齢者陶芸講座開催 96回 (2) 高齢者木彫講座開催 48回 (3) 教養娯楽教室の提供(囲碁・将棋・カラオケ・大正琴・俳句・ちぎりえ・詩吟・水墨画教室等) (4) 浴室の使用(今年度から入浴サービスを有料化 費用...662,000円) (5) 会館利用等の相談指導</p> <p>19年度予算要求額は、経常11,581千円 + 枠外2,286千円 = 13,867千円 (有料化分)</p>						<p>財源の説明 浴場使用料 5,164千円 事務事業評価の反映状況 評価結果(効率化・改善)</p>									
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	03 民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1502000000			
項	01 社会福祉費							所属課名	保険課			
目	06 老人福祉費	0	0	168,468	101,275	0	0	内線番号				
大	136 後期高齢者医療制度関係事業							実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額	
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき		
小	00			0	0	0	101,275		節	安心して健やかにくらせる健康と福		
細	0		0	0	0	0			細節	社会保障制度の適正な運営		0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
老人保健法が改正され、老人保健制度が「高齢者の医療の確保に関する法律」により県内全市町村が加入する鳥取県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度へ平成20年4月から移行する。 このため平成19年2月に設立される鳥取県後期高齢者医療広域連合の米子市の負担金、新制度に対応したシステム開発委託、後期高齢者医療被保険者証の発送のための郵便代が必要となる。 後期高齢者医療制度は、国民健康保険や社会保険等と同じく独立した保険制度であり、保険料を納付することが必要となる。					区分		金額	財源	款	項目	節	金額
2. 根拠法令					12	役務費	5,510					
高齢者の医療の確保に関する法律、鳥取県後期高齢者医療広域連合規約					13	委託料	12,724					
3. 用地の状況					18	備品購入費						
4. 基本計画との関連					19	負担金補助及び交付	83,041					
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明							
(後期高齢者医療制度の対象者)					一般財源							
75歳以上の方及び65歳以上75歳未満で一定の障がいのある方												
後期高齢者医療制度の対象者は、現行の老人保健制度の対象者と同じです。												
平成20年4月時点での見込み 約19,000人												
(事業内容)												
被保険者証に係る郵便代 5,510,000円												
鳥取県後期高齢者医療広域連合市町村負担金 83,040,047円												
システム開発委託料 12,724,000円												
目的別												
性質別												

歳出予算事業概要書

款	03 民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1504000000				
項	01 社会福祉費							所属課名	長寿社会課				
目	07 老人福祉施設費	13,391	13,036	12,860	13,544	0	0	内線番号					
大	002 老人憩の家管理運営事業							実 施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき			
小	00		0	0	0	5,871	7,673		節	安心して健やかにくらす健康と福			
細	0		0	0	0	5,871	7,673		節	明るい長寿社会の実現			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業の概要 高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする。 昭和53年4月に老人及び心身障害児憩の家として移転新築され、58年4月には心身障害者福祉センターの新設に伴い、高齢者専用の憩の家として運営し、現在に至っている。 事業効果 趣味、教養、レクリエーション等を楽しむ教養娯楽室や温泉を利用した浴場の提供により高齢者の心身の健康の増進が図られる。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					11	需用費	30	使用	14	01	02	01	012
2. 根拠法令 米子市老人憩の家条例 3. 用地の状況 4. 基本計画との関連 5. 本年度の計画効果 事業計画 (1) 高齢者陶芸講座開催 69回 (2) 高齢者木彫講座開催 53回 (3) 教養娯楽室の提供 (4) 浴室の使用(今年度から入浴サービスを有料化 費用...1,135,000円) 19年度予算要求額は、経常12,860千円 + 枠外2,357千円 = 15,217千円 (有料化分)					12	役務費	4	老人憩の家の浴場使用料					
					13	委託料	13,510						
					19	負担金補助及び交付							
					6. 財源の説明					財源の説明 浴場使用料 5,871千円 事務事業評価の反映状況 評価結果(現状維持)			
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 02 01	民生費 児童福祉費 児童福祉総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1505000000	
						うち復活額	一般財源	所属課名 児童家庭課		
大 中 小 細 事業	011 00 00 0	放課後児童対策事業・なかよし学級	62,922	57,962	72,284	69,009	0	0	内線番号	
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	
			0	29,580	0	26,902	12,527		子育てを支援し、お年寄りが元気な『ひと』がいいき 安心して健やかにくらせる健康と福 安心して子育てができる環境づくり	
1. 事業の概要と必要性 昼間保護者のいない家庭の小学校1～3年生の児童に対し、学校の空教室等を利用して遊びを主とする活動を行い、児童の心身ともに健全な発達を図る。						節			本年度の財源内訳	
						区分	金額	財源	款 項 目 節 細 節	金額
						1 報酬	43,058	分担	13 02 01 02 003	26,902
						4 共済費			児童保育運営費負担金	
						7 賃金	18,356	都道	16 02 02 02 003	29,580
						8 報償費	5,684		児童環境づくり基盤整備事業費補助	
						9 旅費				
						11 需用費	590			
						12 役務費	865			
						13 委託料	296			
						15 工事請負費				
						18 備品購入費	160			
						19 負担金補助及び交付				
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
5. 本年度の計画効果 なかよし学級事業内容の充実を図り、児童の心身ともに健全な発達を図る なかよし学級 21施設 入所予定児童数 840名 すべての学級において春休みと冬休みを開級し、保護者ニーズに応える。						6. 財源の説明 なかよし学級利用者からの利用料 { (3,500円 × 840人 × 0.8(減免)) × 12月 - (1,750円 × 50人 × 12月) } × 99/100 (徴収率) = 26,902千円 児童厚生施設等事業費補助金(県支出金)計29,580千円 開級日数年200日以上280日以下 1,614千円 × 21学級 × 2/3 = 22,596千円 障害児担当加算(単県) 1,082千円 × 6学級 × 1/2 = 3,246千円 夏休み加算(単県) 245千円 × 21学級 × 1/2 = 2,572千円 春休み加算(単県) 63千円 × 21学級 × 1/2 = 662千円 冬休み加算(単県) 48千円 × 21学級 × 1/2 = 504千円				
目的別 性質別										

歳出予算事業概要書

款	03	民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1505000000					
項	02	児童福祉費							所属課名	児童家庭課					
目	02	母子福祉費	714,792	773,271	715,178	720,000	0	0	内線番号						
大	008	児童扶養手当扶助事業							実 施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額			
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき				
小	00			240,000	0	0	0	480,000		節	安心して健やかにくらす健康と福				
細	0									細節	安心して子育てができる環境づくり		0		
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
事業の概要 離婚等により父と生計を同じくしていない児童を養育するものに対し、児童扶養手当法に基づき手当を支給する。						区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
事業の効果 母子家庭等を経済的に支援し、生活の安定に寄与し、児童福祉の向上を図る。						20	扶助費	720,000	国庫	15	01	01	02	005	240,000
						児童扶養手当負担金									
2. 根拠法令 児童扶養手当法															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 母子家庭を経済的に支援し、生活の安定を図る。 19年度要求額は、経常715,178千円+枠外107,811千円 = 822,989千円						6. 財源の説明 財源の内訳 児童扶養手当給付費国庫負担金 1/3負担 事務事業評価の反映 評価結果・・・現状維持									
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	03	民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1505000000															
項	02	児童福祉費							所属課名	児童家庭課															
目	03	児童措置費	468,283	485,785	466,399	455,009	0	0	内線番号																
大	004	保育所措置事業(公立)							実	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額													
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	施	章	『ひと』がいきいき														
小	00			0	1,900	0	106,331	346,778	計	節	安心して健やかにくらせる健康と福		0												
細	0								画	細節	安心して子育てができる環境づくり														
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳																	
(1) 事業の概要 公立保育園17園を運営する。 (2) 事業効果 公立保育園の児童福祉施設最低基準を維持し、入所児童の心身の健やかな育成を確保し、児童福祉の向上を図る。						区分		金額		財源		款		項		目		節		金額					
						1	報酬	24,790	分担	13	02	01	02	001									93,127		
						4	共済費	28,885							保育所運営費負担金										
						7	賃金	205,648	使用	14	01	02	02	001									24		
						8	報償費	4,065							行政財産使用料										
						9	旅費	610	使用	14	01	02	02	002									214		
						11	需用費	161,768							職員駐車場使用料										
						12	役務費	5,055	都道	16	02	02	02	009									1,900		
						13	委託料	11,616							産休等代替職員費補助金										
						14	使用料及び賃借料	1,595	諸収	21	03	03	03	009									100		
						15	工事請負費	4,000							複写機使用料(児童家庭課)										
						16	原材料費	320	諸収	21	03	03	03	016									40		
						18	備品購入費	6,400							私用電話料(児童家庭課)										
						19	負担金補助及び交付	257	諸収	21	03	03	03	034									11,151		
						2. 根拠法令 児童福祉法										給食実費徴収金								1,675	
						3. 用地の状況																			
						4. 基本計画との関連																			
						5. 本年度の計画効果																			
						(1) 事業計画 公立保育園17園の運営																			
19年度要求額は、経常466,399千円 + 枠外23,049千円 = 489,448千円																									
6. 財源の説明																									
(1) 財源内訳																									
保育所徴収基準額(国基準) 93,127,000円																									
行政財産使用料 24,000円																									
職員駐車場使用料 214,000円																									
県補助金(産休等代替職員費補助金) 1,900,000円																									
雑入(給食実費徴収金等) 12,966,000円																									
(2) 事務事業評価の反映状況																									
評価結果...効率化・改善																									
目的別																									
性質別																									

歳出予算事業概要書

款	03	民生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1505000000								
項	02	児童福祉費							所属課名	児童家庭課								
目	03	児童措置費	1,060,566	1,060,566	1,068,035	1,061,000	0	0	内線番号									
大	007	児童手当扶助事業							実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な		実施計画計上額					
中	00							章		『ひと』がいいき								
小	00							節		安心して健やかにくらせる健康と福								
細	0							節		安心して子育てができる環境づくり								
1. 事業の概要と必要性			財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	本年度の財源内訳								
事業の概要 小学校第6学年修了前(12歳到達後最初の3月31日まで)の児童を養育している方に対し、所得が一定の額未満の場合支給。平成18年度までは、第1子、第2子は月額5,000円、第3子以降は月額10,000円を支給。平成19年4月より3歳未満の第1子、第2子の児童について支給額が月額10,000円に増額される予定である。			448,083		306,453	0	0	306,464	節 金額									
事業効果 児童手当法に基づいて手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に資する。									区分 金額									
2. 根拠法令 児童手当法									20	扶助費	1,061,000	財源			金額			
3. 用地の状況												国庫	15	01	01	02	004	448,083
4. 基本計画との関連												都道	16	01	02	004	306,453	
5. 本年度の計画効果 従前の制度による受給者数 9,850人(見込) 従前の制度による対象児童数 15,712人(見込) 19年度予算要求額は、経常1,068,035千円+制度拡大186,840千円 = 1,254,875千円																		
6. 財源の説明 ア財源内訳の積算基礎 国庫支出金 約1/3負担 県支出金 約1/3負担 イ事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持																		
目的別 性質別																		

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 民生費 02 児童福祉費 03 児童措置費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1505000000							
					うち復活額	一般財源	所属課名	児童家庭課								
018 保育所措置事業(私立)		1,920,378	1,956,402	1,953,773	1,950,201	0	0	内線番号								
大 中 小 細	事 業 業 業 業	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	実施計画計上額						
				646,221	323,110	0	735,434	245,436			0					
1. 事業の概要と必要性 私立保育園23園の保育所運営に要する経費を、保育所運営費国庫負担金制度に基づき支弁することにより、児童福祉施設最低基準を維持し入所児童の心身の健やかな育成を確保し児童福祉の向上を図る。					節			本年度の財源内訳								
					区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額			
					12	13	19	1,927,736	22,465	分担	13	02	01	02	001	735,294
										国庫	15	01	01	02	001	646,221
										都道	16	01	02	02	001	323,110
										財産	17	01	01	01	005	140
										土地貸付料(児童家庭課)						
2. 根拠法令 児童福祉法																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果 保育所運営費国庫負担金制度に基づき、保育所運営費の支弁を行うことにより、児童福祉施設最低基準を維持し児童福祉の向上を図る。																
6. 財源の説明 (1) 財源内訳 保育所徴収基準額(国基準) 735,294,000円 国庫負担 1/2 県負担 1/4 土地貸付料 140,000円 (2) 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持																
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 02 04	民生費 児童福祉費 児童福祉施設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1505000000									
						うち復活額	一般財源	所属課名	児童家庭課										
大 中 小 細 事業	003 00 00 0	児童館活動事業	21,398	21,650	21,606	21,243	0	0	内線番号		実施計画計上額								
財源内訳		国庫支出金							県支出金	地方債		その他	一般財源	実 施 計 画					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳										
事業の概要 市内に4ヶ所ある児童館の運営						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額					
<p>事業の効果 児童館を運営することにより、児童に健全な遊びを提供し、その健康を増進し、情操を豊にする。</p>						1	報酬	13,157	使用	14	01	02	02	001		10			
						4	共済費	2,032											
						7	賃金	1,893	諸収	21	03	03	03	009					3
						8	報償費	2,117											
						9	旅費	139	諸収	21	03	03	03	016					4
						11	需用費	1,039											
						12	役務費	222											
						13	委託料	409											
						14	使用料及び賃借料												
						15	工事請負費												
						18	備品購入費	100											
						19	負担金補助及び交付	135											
						2. 根拠法令													
						3. 用地の状況													
						4. 基本計画との関連													
						5. 本年度の計画効果 児童館の事業内容の充実を図り、児童の健康を増進し、情操を豊かにする。													
						6. 財源の説明 財源の内訳 児童館に設置してある電話の私用利用料 1,000円×4館=4,000円 児童館に設置してあるコピー機の私用利用料 3,000円 児童館敷地内にある電柱等の行政財産使用料 10,000円 事務事業評価の反映 評価結果・・・現状維持													
						目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 02 04	民生費 児童福祉費 児童福祉施設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1505000000	
						うち復活額	一般財源	所属課名	児童家庭課		
								内線番号			
大 中 小 細	011 00 00 0	児童デイサービス事業	0	0	5,547	5,547	0	0	実 施 計 画	部	実施計画計上額
		財源内訳								章	
			国庫支出金 県支出金	節	0						
		2,328 1,164		細節		890 1,165					
							本年度の財源内訳				
		区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額	
1. 事業の概要と必要性											
(1) 事業の概要											
在宅障がい児の地域における生活を支えるため、対象となる児童が知的障害児通園施設あかしやを一時的に利用して療育指導等を受けられるデイサービスを行う。											
(2) 事業効果											
在宅障がい児が身近な地域で療育指導を受けられることにより、在宅障がい児家族の福祉の向上をめざす。											
2. 根拠法令											
障害者自立支援法											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果											
(1) 事業計画											
親子来園により、1日当たり平均利用児童数(見込)4人で、週5日実施。											
(2) これまでの経過											
在宅障がい児家庭からのあかしやへの外来による相談・療育は、平成12年10月から「障害者(児)地域療育支援事業」の一環として実施してきたが、平成18年10月施行の障害者自立支援法施行に伴い県が事業を見直し、平成19年度から外来による療育等は当該委託事業から外されることとなった。											
外来による療育等は、在宅の障がい児とその保護者にとって数少ない相談・指導を受けられる場であり、現在約25人の児童が登録している。(1日5~6人ずつ、1人が週1回程度来園)これらの児童とその保護者は在宅又は幼稚園等に通いながらあかしやの外来を利用して、県内に2ヶ所しかない知的障害児通園施設としてのあかしやの施設機能を利用する貴重な機会を提供するうえで不可欠の事業である。											
よって、平成19年度から、障害者自立支援法に基づく児童デイサービス事業として新たに事業実施することにより、在宅障がい児家族の福祉の向上をめざす。											
6. 財源の説明											
1 財源内訳											
負担金及び分担金(児童デイサービス利用料) 517,000千円											
国庫補助金(在宅心身障害者福祉対策費補助金) 2,328千円											
県補助金(児童居宅生活支援事業費補助金) 1,164千円											
雑入 372千円											
目的別											
性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 民生費 03 生活保護費 02 扶助費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1503000000	所属課名 福祉課	内線番号				
					うち復活額	一般財源								
大 事 業	010 生活保護扶助費	2,231,114	2,345,637	2,151,972	2,235,000	0	0							
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額			
小 事 業	00		1,668,750	24,250	0	10,000	532,000		章	『ひと』がいきいき				
細 事 業	0								節	安心して健やかにくらせる健康と福				
							細節		社会保障制度の適正な運営	0				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 国が定める生活保護基準により、扶助費を支給する。 事業の効果 生活困窮者に対し、生活保護法に基づく保護を適用することによって最低生活の保障と自立助長が図られる。 					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
					20	扶助費	2,235,000	国庫	15	01	01	03	001	
2. 根拠法令 生活保護法														
								都道	16	01	02	03	001	
3. 用地の状況														
								諸収	21	03	03	03	069	
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果 生活困窮者に対し、生活保護法に基づく保護を適用することによって最低生活の保障と自立助長が図られる。 19年度要求額は、経常 2,151,972千円 + 枠外 183,311千円 = 2,335,283千円														
6. 財源の説明 ・国庫負担金 (事業費 - 生活保護費返還金) × 3/4 ・県負担金 97,000,000 × 1/4 = 24,250,000円 (73条適用) ・生活保護費返還金 10,000,000円														
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 01 保健衛生費 01 保健衛生総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1501000000						
					うち復活額	一般財源	所属課名	健康対策課							
		49,891	49,020	51,909	51,058	0	0	内線番号							
大 中 小 細 事業	064 妊婦・乳幼児健康診査事業 00 00 0	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	子育てを支援し、お年寄りが元気な『ひと』がいきいき 安心して健やかにくらせる健康と福 健康づくり・保健サービスの充実	実施計画計上額				
			0	279	0	0	50,779		0						
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
乳幼児に対して総合的な健康診査を実施し、身体発育、精神発達の状態を把握するとともに、障がいの早期発見と養育支援、育児に関する相談及び指導・助言を行うことで、育児負担の軽減に努める。 また、妊婦への健康診査を実施することで、母体や胎児の健康の保持、増進を図る。 淀江支所で開催していた健診を平成19年度より統合して実施するため、約60名の対象者増が見込まれる。従前より十分な対応が困難となっていた1歳6ヶ月健診については、3単位（現行2単位）に増やして対応する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
					4	共済費	16	都道	16	02	01	01	034	279	
					7	賃金	210	鳥取県市町村交付金							
					8	報償費	10,059								
					11	需用費	727								
					12	役務費	1,502								
					13	委託料	38,544								
					18	備品購入費									
2. 根拠法令 母子保健法第12条、13条、発達障害者支援法第5条					6. 財源の説明										
3. 用地の状況					1 財源内訳										
4. 基本計画との関連					市町村交付金（多胎妊娠妊婦健康診査事業） @5,580円×100人×1/2 = 279,000円										
5. 本年度の計画効果					2 事務事業評価の反映状況 乳幼児健康診査 評価結果...現状維持 1歳6ヶ月児健康診査 評価結果...充実拡大 受診者の増加や健診内容の充実に伴い、実施回数を増やして受診者の分散化を図ること等について検討が必要。 3歳児健康診査 評価結果...充実拡大 オートレフを用いるなど視力検査の充実を図るとともに、軽度難聴の早期発見のため指こすり検査の導入について検討する。										
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1501000000				
項	01 保健衛生費							所属課名	健康対策課				
目	01 保健衛生総務費	0	0	1,760	1,506	0	0	内線番号					
大	066 5歳児健康診査事業							実 施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき			
小	00			0	0	0	1,506		節	安心して健やかにくらす健康と福			
細	0		0	0	0	0			細節	健康づくり・保健サービスの充実			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
3歳児健診時には発見が困難である軽度発達障がいを早期に発見して、対象児及び保護者に対し就学に向けた適切な支援を行う。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					8	報償費	972						
					11	需用費	72						
					12	役務費	30						
					13	委託料	432						
					18	備品購入費	0						
2. 根拠法令 発達障害者支援法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
軽度発達障がい児及びその疑いのある5歳児を対象とし、つぎの事業を実施する。													
(1) 巡回相談 市内保育園、幼稚園(56箇所)を臨床心理士等の専門職員が巡回して保護者及び保育士等に対し、園及び家庭においての問題行動についての相談に応じる。													
(2) 発達健診 軽度発達障がいの疑われる児に対する健診及びその保護者からの相談対応を保健センターで月一回実施。脳神経小児科医師、保健師、臨床心理士が適切な支援を行なう。また、必要に応じて専門機関の紹介を行なう。													
(3) 就学前教室 1教室4回とし、年3教室実施。保護者が軽度発達障がいの特性を理解し、適切な対応を行なうことができるよう支援する。また、軽度発達障がいのある児に対し、就学までの支援策の検討を行なう。													
6. 財源の説明													
1 財源内訳 すべて一般財源													
2 事務事業評価の反映状況 実施													
軽度発達障がい早期に発見し、対象児及び保護者に対し就学に向けた適切な支援を行うため実施が必要である。													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1501000000		
項	01 保健衛生費							所属課名	健康対策課		
目	02 老人保健事業費	199,292	217,675	212,135	210,902	0	0	内線番号			
大	002 老人保健事業							実 施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき	
小	00		50,960	50,960	0	51,977	57,005		節	安心して健やかにくらす健康と福	
細	0								細節	健康づくり・保健サービスの充実	
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>1 事業の概要 老人保健法第20条の規定により、成人期における健康の保持と適切な医療の確保をはかるため、健康手帳の交付、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導等の保健事業を総合的に実施し、保健・福祉の増進を図る。</p> <p>2 事業効果 疾病の早期発見治療に結びつくとともに、各種事業の有機的な実施により市民の疾病予防・健康づくりが出来る。</p>											
<p>2. 根拠法令 老人保健法</p>											
<p>3. 用地の状況</p>											
<p>4. 基本計画との関連</p>											
<p>5. 本年度の計画効果 老人保健法に基づき、以下の事業を実施する。 健康手帳、健康教育、健康相談、訪問指導、基本健康診査、肝炎ウイルス検査、歯周疾患健診 肝炎ウイルス検査は、新40歳を節目検診の対象、未受診者を節目外検診の対象とし、引き続き実施する。</p>											
<p>6. 財源の説明</p> <p>1 財源内訳 老人保健事業費負担金 (補助率 1/3) 国庫負担金 50,960,000円 (補助率 1/3) 県負担金 50,960,000円 基本健診本人負担金 51,681,000円 肝炎ウイルス検査本人負担金 284,000円 歯周疾患検診本人負担金 12,000円</p> <p>2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・効率化・改善</p> <p>6 5歳以上を対象に生活習慣病予防+介護予防を中心に地域支援事業として行うとともに 今後は、健診結果の活用、健康相談・健康教育へ結びつける取組みを行う。また、平成19年度から旧淀江町との事業統合を行い、負担金の適正化について検討する。</p>											
<p>目的別 性質別</p>											

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1501000000																											
項	01 保健衛生費							所属課名	健康対策課																											
目	02 老人保健事業費	252,325	263,004	281,816	272,690	0	0	内線番号																												
大	020 がん検診事業							実 施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額																									
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき																										
小	00			0	0	66,421	206,269		節	安心して健やかにくらせる健康と福																										
細	0		0	0	0	66,421	206,269		細節	健康づくり・保健サービスの充実																										
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳																												
がんを早期に発見し、早期治療でその進行を遅らせ、また、撲滅し、ひいては医療費の削減を図ることを目的に各種がん検診を実施する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額																						
					4	共済費	4	諸収	21	03	03	03	035	66,421																						
					7	賃金	776																													
					8	報償費	47																													
					9	旅費	10																													
					11	需用費	975																													
					12	役務費	2,953																													
					13	委託料	267,925																													
2. 根拠法令																																				
健康増進法																																				
3. 用地の状況																																				
4. 基本計画との関連																																				
5. 本年度の計画効果																																				
がんの早期発見・早期治療を目的に以下の検診を実施する。 胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診については、鳥取県西部医師会等に委託し、7月から12月の間、個別検診を実施する。また、胃がん検診、肺がん検診は、検診車による集団検診を実施する。 また、必要な方には、精密検査の受診を勧奨する。 受診者負担金について70歳以上、老人医療受給者、市民税非課税世帯のかたについては無料としていたが、次のとおり負担金を徴収する。ただし、生活保護世帯のかたは無料。																																				
<table border="0"> <tr> <td></td> <td>市民税非課税世帯のかた</td> <td>課税世帯のかた</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診(個別)</td> <td>1,700円</td> <td>3,500円</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診(集団)</td> <td>700円</td> <td>1,400円</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診(頸部のみ)</td> <td>1,100円</td> <td>2,200円</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診(頸部+体部)</td> <td>1,800円</td> <td>3,700円</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>900円</td> <td>1,800円</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診(喀痰検査のみ)</td> <td>400円</td> <td>900円</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>700円</td> <td>1,400円</td> </tr> </table>						市民税非課税世帯のかた	課税世帯のかた	胃がん検診(個別)	1,700円	3,500円	胃がん検診(集団)	700円	1,400円	子宮がん検診(頸部のみ)	1,100円	2,200円	子宮がん検診(頸部+体部)	1,800円	3,700円	乳がん検診	900円	1,800円	肺がん検診(喀痰検査のみ)	400円	900円	大腸がん検診	700円	1,400円								
	市民税非課税世帯のかた	課税世帯のかた																																		
胃がん検診(個別)	1,700円	3,500円																																		
胃がん検診(集団)	700円	1,400円																																		
子宮がん検診(頸部のみ)	1,100円	2,200円																																		
子宮がん検診(頸部+体部)	1,800円	3,700円																																		
乳がん検診	900円	1,800円																																		
肺がん検診(喀痰検査のみ)	400円	900円																																		
大腸がん検診	700円	1,400円																																		
6. 財源の説明																																				
1 財源の説明 本人負担金																																				
胃がん検診(個別)@3,500円×8,261人+@1,700円×2,849人=33,756,800円 (集団)@1,400円×830人+@700円×436人=1,467,200円																																				
子宮がん検診(頸部)@2,200円×4,302人+@1,100円×1,576人=11,198,000円 (体部あり)@3,700円×220人+@1,800円×60人=922,000円																																				
肺がん検診(喀痰検査)@900円×147人+@400円×203人=213,500円																																				
大腸がん検診@1,400円×9,418人+@700円×3,279人=15,480,500円																																				
乳がん検診@1,800円×1,568人+@900円×624人=3,384,000円																																				
2 事務事業評価の反映状況																																				
評価結果...効率化・改善																																				
検診受診率及び精密検査受診率の向上、特に40・50歳代、男性への受診勧奨が必要。 平成19年度から旧淀江町との事業統合を行い、負担金の適正化について検討する。																																				
目的別																																				
性質別																																				

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 01 保健衛生費 03 予防費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1501000000	所属課名 健康対策課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	001 予防接種事業	78,006	94,372	84,911	77,707	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	子育てを支援し、お年寄りが元気な『ひと』がいいき 安心して健やかにくらせる健康と福 健康づくり・保健サービスの充実	実施計画計上額 0		
小 事 業	00		0	0	0	0	77,707						
細 事 業	0		0	0	0	0	77,707						
1. 事業の概要と必要性 乳幼児に対する予防接種を実施することで、集団に感染する恐れのある疾病の発生及びまん延を防止する。					節			本年度の財源内訳					
					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					4	共済費	5						
					7	賃金	240						
					8	報償費	2,316						
					9	旅費	4						
					11	需用費	1,546						
					12	役務費	514						
					13	委託料	73,082						
2. 根拠法令 予防接種法第3条													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 予防接種予診票を対象者に交付し、麻しん・風しん混合、百日せき・ジフテリア・破傷風混合、ジフテリア・破傷風混合、日本脳炎予防接種については、委託医療機関個別方式で実施。ポリオ予防接種については、保健センターで集団方式で実施(年2回)する。また、規則改正で、麻しん、風しん予防接種の接種方法、接種期間が変更されたことに伴い、新たに接種対象となる児に対して、個別通知をし、接種勧奨及び周知の徹底を図る。													
6. 財源の説明 1 財源内訳 すべて一般財源 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...効率化・改善 嘱託看護師の雇用により保健師が行う事務量を軽減する。													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 02 清掃費 01 清掃総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1002000000	所属課名 環境政策課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	031 家庭系生ごみ減量化事業	0	0	9,989	3,989	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『暮らし』がいきいき 魅力あふれる定住のまちづくり 清潔な環境づくり	実施計画計上額 0			
小 事 業	00										0	3,000	660
細 事 業	0												
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
(1) 事業の概要 可燃ごみの約40%を占める生ごみの減量化の推進及び市民の生ごみ減量化に対する意識を高めるために、生ごみ処理機及び処理容器の購入に際して助成を行う。また、生ごみ回収モデル事業の実施により、生ごみ分別回収や生ごみ堆肥化についての効果や可能性を検討する。					区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額
(2) 事業効果 一般家庭から排出される生ごみの自己処理や減量化・堆肥化を促進し、市民の生ごみ減量化を促進し、市民のごみ分別意識の向上が期待でき、市の目指す循環型社会の一手段となる。					11 需用費		45		手数		14 02 03 01 008		3,000
					13 委託料		944				ごみ処理手数料		
					19 負担金補助及び交付		3,000		都道		16 02 03 02 006		329
											一般廃棄物リサイクル等推進支援事		
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 生ごみ処理機等購入費助成 補助 300万円													
(2) 生ごみ回収モデル事業 対象 100世帯													
6. 財源の説明													
(1) 財源内訳													
							・県支出金(一般廃棄物リサイクル等推進支援事業)				329,360円		
							・ごみ処理手数料				3,000,000円		
							・一般財源						
(2) 事務事業評価の反映状況													
実施(事業の実施は適当であるが、一定期間内での費用対効果等を十分に検証し、適宜見直しを行いながら実施する必要がある)													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1004000000		
項	02 清掃費							所属課名	環境事業課		
目	02 塵芥処理費	919,292	937,308	730,924	970,659	0	0	内線番号			
大	001 クリーンセンター運転事業							実施部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	章	『暮らし』がいきいき		
小	00		0	0	0	424,393	546,266	節	魅力あふれる定住のまちづくり		
細	0		0	0	0	424,393	546,266	細節	清潔な環境づくり		
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>(1) 事業概要 米子市クリーンセンターの運転管理業務</p> <p>(2) 事業効果 適切に運転管理することで、安定した可燃ごみの焼却処理を行うことができる。</p>											
<p>2. 根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p>											
<p>3. 用地の状況</p>											
<p>4. 基本計画との関連</p>											
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>(1) 事業計画 米子市及び日吉津村から排出される可燃ごみの全量を、安全かつ衛生的に焼却処理することにより、市民の快適な生活環境を確保する。</p> <p>(2) その他特記事項</p> <p>前年度当初予算及び前年度現計予算には、「灰溶融設備運転事業」を含み267,493千円がうち数である。(別事業として枠外要求310,170千円したもの) 査定にて「灰溶融設備運転事業」を事業統合し、調整結果額に299,502千円を含む。</p>											
<p>6. 財源の説明</p> <p>1 財源内訳</p> <p>(1) 可燃物処理手数料：施設に持ち込まれたごみの量に応じて徴収。 (平成19年4月から190円/10kg)</p> <p>(2) 庁舎電気等使用料：米子市クリーンセンター内に設置された自動販売機の電気使用料</p> <p>(3) 余熱発電電力収入：ごみ焼却時に発生する熱をボイラーで回収して発電する。施設内で使用するが余剰分を売電する。</p> <p>(4) 有価物等売払収入：溶融した焼却灰に含まれる金属成分を固形化し売却する。</p> <p>(5) 可燃物処理費負担金：日吉津村内のごみ処理経費負担金</p> <p>2 事務事業評価の反映状況</p> <p>評価結果・・・効率化・改善：1次評価を支持する 増高する処理経費を最小限に抑えるため、各委託業務の内容を精査した。</p>											
<p>目的別 性質別</p>											

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	1002000000					
					うち復活額	一般財源	所属課名	環境政策課						
		499,839	502,259	478,505	474,231	0	0	内線番号						
大 事 業	021 分別収集事業(環境政策課)				地方債	その他	一般財源	実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額			
中 事 業	00	財源内訳		国庫支出金	県支出金				章	『暮らし』がいきいき				
小 事 業	00			0	0	0	196,615		節	魅力あふれる定住のまちづくり				
細 事 業	0			0	0	0	277,616		細節	清潔な環境づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の概要 一般家庭から排出されるごみの分別収集を実施するとともに、その実施のための住民啓発等を行い、一般廃棄物の資源化・適正処理を推進する。 また、資源ごみの集団回収を実施している自治会・子供会等の団体に対して、奨励金を交付することにより、ごみのリサイクルと減量化を推進する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
(2) 事業効果 一般廃棄物の資源化・適正処理、ごみ問題に対する意識の向上が図られる。					1	報酬	1,538	手数	14	02	03	01	003	320
					4	共済費	222							
					7	賃金		手数	14	02	03	01	008	196,286
					8	報償費	4,664							
					11	需用費	1,840	財産	17	01	01	01	008	9
					12	役務費								
					13	委託料	465,799							
					19	負担金補助及び交付	159							
					27	公課費	9							
2. 根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2に基づき、一般廃棄物の処理は市の責務														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
(1) ごみの分別収集の実施 旧米子市 6種13分別、旧淀江町 5種14分別														
(2) ごみ等の委託処理の実施 使用済乾電池・蛍光灯、白色発泡スチロール・トレーの処理委託														
(3) 資源ごみ回収運動推進事業の実施 資源ごみ回収運動推進団体への奨励金の交付 約80団体予定 奨励金の額 古紙類 1kgあたり5円、空瓶類 1本あたり3円 空瓶ケース類 1個あたり6円、金属類・衣類 1kgあたり3円														
(4) ごみ分別収集カレンダーの作成、配付														
(5) 啓発事業の実施														
6. 財源の説明														
(1) 財源内訳														
・特定財源														
一般廃棄物収集運搬業許可手数料					@10,000円	×	24件	=	240,000円					
一般廃棄物書分別業許可手数料					@10,000円	×	1件	=	10,000円					
浄化槽清掃業許可手数料					@10,000円	×	7件	=	70,000円					
土地貸付料									9,000円					
ごみ処理手数料									196,286,000円					
・一般財源														
(2) 事務事業評価の反映状況														
・一般廃棄物収集運搬事業...効率化・改善														
・一般廃棄物処理事業(有害ごみ、白色発泡スチロール・トレー)...現状維持														
・資源ごみ回収運動推進事業...現状維持														
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1002000000	所属課名 環境政策課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 事 業	031	0	44,296	128,905	117,245	0	0								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『暮らし』がいきいき 魅力あふれる定住のまちづくり 清潔な環境づくり	実施計画計上額 0					
小 事 業	00										0	0	0	117,245	0
細 事 業	0										0	0	0	117,245	0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
平成18年3月に策定した米子市一般廃棄物処理基本計画では、平成22年度のごみ排出量を平成12年度のごみ排出量と比較して8%減量することとしており、この目標を達成するためには、更なるごみの減量化を推進していかなければならない。 先進都市の例では、ごみ処理の有料化はごみの減量化のための有効な手段という結果も出ており、本市でも、ごみ減量化の一層の推進、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保、ごみ処理経費に係る財源確保の観点から、ごみ処理の有料化を平成19年4月1日から実施するものである。 なお、有料化するごみの区分は可燃ごみ・不燃ごみ（不燃性粗大ごみを含む）とし、指定ごみ袋又は収集シールの料金として処理手数料を徴収する。					区分		金額	財源 手数	款 項 目 節 細 節	金額					
2. 根拠法令					8 報償費		3,480	14 02 03 01 008	117,245						
3. 用地の状況					9 旅費			ごみ処理手数料							
4. 基本計画との関連					11 需用費		50								
5. 本年度の計画効果					12 役務費										
1 事業計画					13 委託料		113,715								
(1) 有料化の実施 平成19年4月1日から					14 使用料及び賃借料										
(2) 指定ごみ袋・収集シールの製造、販売					19 負担金補助及び交付										
指定ごみ袋 大袋(40%) 処理手数料 60円															
中袋(20%) 処理手数料 30円															
小袋(10%) 処理手数料 15円															
収集シール 処理手数料 60円															
指定袋等取扱店等で指定袋・収集シールを販売、交付（平成19年3月から）															
(3) ボランティア清掃用指定ごみ袋、収集シールの製造、配布															
2 事業効果					6. 財源の説明										
ごみ排出量減量見込み 可燃ごみ、不燃ごみを前年比で10%程度の減量					(1) 財源内訳										
ごみ処理手数料収入見込み総額 348,000千円					・ごみ処理手数料 117,245,000円										
					(2) 事務事業評価の反映状況 実施										
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	1004000000														
項	02 清掃費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	環境事業課															
目	02 塵芥処理費	0	0	284,379	255,865	0	0	内線番号															
大	032 溶融スラグストックヤード整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額												
中	00								85,004	0		170,800	0	61	章	『暮らし』がいきいき							
小	00														節	魅力あふれる定住のまちづくり							
細	0														細節	清潔な環境づくり							
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳															
(1) 事業概要 旧米子市清掃工場を解体し、跡地に溶融スラグストックヤードを建設する事業。 (2) 事業効果 旧米子市清掃工場は、米子市クリーンセンターの設置に伴い廃止した施設であり、ダイオキシン類対策、防災上からも早急に解体する必要がある。 また、溶融スラグの有効利用については、現在暫定的な置場を利用しての試験的利用にとどまっております。解体跡地に一定量保管できるストックヤードを建設することで、さらなる有効利用を図る。								区分		金額		財源		款		項目		節		細節		金額	
								9	旅費	65	国庫	15	02	03	01	004	85,004						
								13	委託料	3,700	地方	22	01	01	01	003	170,800						
								15	工事請負費	252,100	地方	溶融スラグストックヤード整備事業											
2. 根拠法令																							
循環型社会形成推進交付金交付要綱																							
3. 用地の状況																							
4. 基本計画との関連																							
5. 本年度の計画効果																							
(1) 事業計画 国・県との協議を経て旧米子市清掃工場解体に着手する。																							
6. 財源の説明																							
1 財源内訳																							
(1) 循環型社会形成推進交付金								85,004,000円															
(2) 地方債								170,800,000円															
(3) 上記記載以外は一般財源								61,000円															
2 事務事業評価の反映状況																							
評価結果・・・現状維持：1次評価を支持する																							
目的別																							
性質別																							

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度	前年度	各課	調整結果額		所属課コード	1002000000								
項	02 清掃費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	環境政策課								
目	02 塵芥処理費	0	0	2,780	1,500	0	内線番号									
大	034 不法投棄対策事業(啓発)	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額					
中	00								0	0		0	1,500	0	章	『暮らし』がいきいき
小	00														節	魅力あふれる定住のまちづくり
細	0														細節	清潔な環境づくり
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>有料化の実施に伴い、不法投棄、不適正なごみの持ち出し、ポイ捨てなどが増えるのではという市民からの意見も多い。地域の環境を守り、また、ごみ有料化実施に市民の理解・協力を得るために、防止対策を強化する必要がある。</p> <p>不法投棄は犯罪であるという広報・啓発とともに、看板の設置や、パトロールコースの拡大、不法投棄常習地区をモデルケースにした不法投棄監視員の設置、各地区への不法投棄対策補助金の交付など、不法投棄をさせない環境整備等について行政と地域が連携して防止対策を行う。また、ポイ捨て禁止条例の施行や、看板の設置など、ポイ捨て禁止、地域の環境美化対策を行う。</p>																
<p>2. 根拠法令</p>																
<p>3. 用地の状況</p>																
<p>4. 基本計画との関連</p>																
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>(1) 事業計画 不法投棄禁止看板、環境美化・ポイ捨て禁止看板の設置 不法投棄対策補助金 27地区 不法投棄監視員の設置 モデル地区 2地区×2名 パトロールコースの拡大と緊急対応体制の強化 ごみステーションでの指導・啓発 ポイ捨て禁止条例の施行 犬の糞処理袋の配布 啓発 広報よなご、ホームページ、部用車など</p> <p>(2) 事業効果 不法投棄、ポイ捨て等をさせない環境整備と意識啓発が図られる。</p>																
<p>6. 財源の説明</p> <p>(1) 財源内訳 ・ごみ処理手数料 1,500,000円</p>																
<p>目的別 性質別</p>																

歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1004000000	所属課名 環境事業課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	035 不法投棄対策事業	0	0	2,790	1,000	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『暮らし』がいきいき 魅力あふれる定住のまちづくり 清潔な環境づくり	実施計画計上額 0			
小 事 業	00										0	0	1,000
細 事 業	0										0	0	1,000
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 不法投棄され、市において回収した特定家電品4品目とパソコンのうち、排出者が確認・特定できなかったものについて、それぞれ所定の方法で処理する。					節 区分			本年度の財源内訳					
					金額			財源 款 項 目 節 細 節					
					12 役務費	1,000							
2. 根拠法令 家電リサイクル法・資源有効利用促進法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 不法投棄された特定家電4品目を定められた場所に搬入し、処理を依頼する。 不法投棄された家庭用パソコンの処理を製造メーカー等に依頼する。													
6. 財源の説明 1 財源内訳 一般財源のみ													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	前年度	前年度	各課	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000							
項	02 清掃費	当初予算	現計予算	要求額				所属課名	環境政策課							
目	02 塵芥処理費	0	0	35,013	31,960	0	0	内線番号								
大	036 ごみ有料化周知事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額					
中	00								0	1,991		0	29,969	0	章	『暮らし』がいきいき
小	00														節	魅力あふれる定住のまちづくり
細	0														節	清潔な環境づくり
<p>1. 事業の概要と必要性 平成18年3月に策定した米子市一般廃棄物処理基本計画では、平成22年度のごみ排出量を平成12年度のごみ排出量と比較して8%減量することとしており、この目標を達成するためには、更なるごみの減量化を推進していかねばならない。 先進都市の例では、ごみ処理の有料化はごみの減量化のための有効な手段という結果も出ており、本市でも、ごみ減量化の一層の推進、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保、ごみ処理経費に係る財源確保の観点から、ごみ処理の有料化を平成19年4月1日から実施するものである。 なお、有料化するごみの区分は可燃ごみ・不燃ごみ（不燃性粗大ごみを含む）とし、指定ごみ袋又は収集シールの料金として処理手数料を徴収する。</p>																
2. 根拠法令																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>1 事業計画 (1) 有料化の実施 平成19年4月1日から (2) 住民等への周知 よなごみ通信（広報よなご特集号）、ホームページ、テレビ・ラジオスポット等 ごみステーションでの指導・啓発 (3) 負担軽減措置の実施 対象者に指定ごみ袋の交付 (4) ごみ減量事例集の配布による啓発</p> <p>2 事業効果 ごみ排出量減量見込み 可燃ごみ、不燃ごみを前年比で10%程度の減量 ごみ処理手数料収入見込み総額 348,000千円</p>																
<p>6. 財源の説明</p> <p>(1) 財源内訳 ・ 県支出金（合併支援交付金） 1,991,800円 ・ ごみ処理手数料 29,969,000円</p> <p>(2) 事務事業評価の反映状況 実施</p>																
<p>目的別 性質別</p>																

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2502000000				
項	01 農業費							所属課名	耕地課				
目	02 農業総務費	0	0	8,750	7,750	0	0	内線番号					
大事業	022 農地・水・環境保全向上対策事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき			
小事業	00								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0		
細事業	0		0	0	0	0	7,750		細節	活力ある農業・農村づくり			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
【事業目的】 ・農地や水などの資源の保全とその質の向上を図る。 ・農業、農村の基盤を支え、環境の向上を図る。 【事業概要】 ・事業内容 農業者だけでなく地域住民、自治会など非農家も取り込んだ活動組織を新たにつくりこれまでの保全活動に加えて、農村の自然や景観などを守る地域共同活動を支援します。また、地域共同活動に加えて、化学肥料や化学農薬の低減など環境にやさしい農業に向けた地域での活動を支援します。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					19	負担金補助及び交付	7,750						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
【事業計画】 農地・水・環境保全向上対策事業活動助成金 ・活動組織に対して、共同活動を支援する助成金を交付する。 助成交付金額 ・活動範囲内の農業振興地域農用地面積に以下の単価を乗じたもの 国・県・市 水田 4,400円/10a 畑 2,800円/10a 草地 400円/10a					6. 財源の説明								
					【財源について】 助成交付金の負担割は、国が1/2、県が1/4、市が1/4となる。 交付金は第三者機関である「地域協議会」に集め、活動組織に交付する。 【他市町村の状況】 近隣市では鳥取市、倉吉市、松江市、西部地区の町村では、南部町、伯耆町、大山町において実施予定。 【事務事業評価の反映状況】 条件付実施								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2502000000					
項	01 農業費							所属課名	耕地課					
目	04 農地費	131,000	119,852	94,100	67,100	0	0	内線番号						
大事業	001 単市土地改良事業							実施 計画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00								章	『産業』がいきいき				
小事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
細事業	0								0	0		28,000	4,030	35,070
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 ・農業生産基盤整備の一環として土地改良施設（農道、用排水路、水利施設等）の整備を行う。 ・土地改良施設等を適正に維持管理するために除草や破損箇所の補修等を行う。 事業の効果 農業生産基盤の整備により農地の高度利用及び安定した農業経営が図られる。また、施設の維持管理により、良好な営農環境及び市民の生活環境を確保する。					区分		金額		財源			金額		
					13	委託料	8,000	分担	13	01	01	01	001	4,030
2. 根拠法令					15	工事請負費	52,900	土地改良事業費分担金						
					16	原材料費	2,000	地方	22	01	02	01	001	28,000
					17	公有財産購入費	3,000	農道整備事業						
					22	補償補填及び賠償金	1,200							
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明									
事業の計画 土地改良施設整備 かんがい排水路整備（用排水路改修等）、農林道整備（農道改良等）、水利施設（ため池を除く。）整備（樋門改修等）、ため池整備、暗きょ排水施設整備（暗きょ管理設等）、農道舗装 土地改良施設等維持管理 事業の効果 土地改良施設整備による受益面積 60ha 土地改良施設等維持管理による米子市全域の施設の適正な管理					財源内訳の積算基礎 地方債 農林道整備、農道舗装の事業費のうち分担金を除いた額に対する100%。 分担金 米子市土地改良事業等分担金徴収条例に基づき徴収する。									
					他市の状況、合併協定項目等 他市においても同様の事業は行われている。 事務事業評価の反映状況 事務事業評価の反映を受け、継続実施する。									
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2502000000					
項	01 農業費							所属課名	耕地課					
目	04 農地費	55,990	55,990	44,133	49,615	0	0	内線番号						
大	052 新農業水利システム保全対策事業							実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小	00		0	22,787	0	4,460	22,368		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
細	0								細節	活力ある農業・農村づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 農業用水利施設は農地利用の集積化に伴い、農業の担い手に施設管理が集中・増大するため、管理の省力化、畑地化及び畑作の本作化のための農業水利施設の整備を行う。 ・箕蚊屋地区 水路改修 4箇所、樋門改修 3基 ・佐陀川右岸地区 水路改修 26箇所、樋門改修 3基 ・南部地区 水路改修 26箇所、樋門改修 2基 ・淀江宇田川地区 水路改修 26箇所、樋門改修 5基 事業効果 農地の集積化の促進を制約する要因を除去し、担い手育成のための合理的な水利用と施設管理の省力化等を実現する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
					11	需用費	455	分担	13	01	01	01	001	4,460
					12	役務費	50							
					13	委託料	4,810	都道	16	02	04	01	028	22,787
					15	工事請負費	37,376							
					19	負担金補助及び交付	6,924							
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明									
かんがい排水 ・水路改修工事 佐陀川右岸地区 : 4箇所 米子南部地区 : 7箇所(うち伯耆町2箇所) 淀江宇田川地区 : 7箇所 ・測量設計 一式 水利施設 ・樋門改修工事 佐陀川右岸地区 : 1箇所 淀江宇田川地区 : 2箇所 ・樋門改修(新農業水利システム保全対策事業補助金) 箕蚊屋地区 : 2箇所					(1) 財源内訳 かんがい排水 国: 50% 米子市(一般財源): 40% 地元: 10% 水利施設 国: 50% 米子市(一般財源): 35% 地元: 15% 箕蚊屋地区においては、箕蚊屋土地改良区が事業主体となるため、当該改良区に対して補助金を支出する。なお、受益地が米子市、伯耆町、日吉津村にまたがるため、補助金額は受益面積割合で負担する。 米子市の受益面積割合: 69.5% (2) 他市の状況 全国的に当事業は実施されている。 (3) 事務事業評価の反映状況 現状維持 同様の整備内容である単市土地改良事業との調整を図る。									
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000				
項	01 農業費							所属課名	農政課				
目	06 畜産業費	0	0	2,000	2,000	0	0	内線番号					
大事業	019 全国和牛能力共進会協力事業							実施 計画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき			
小事業	00								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0	
細事業	0		0	0	0	0	2,000		細節	活力ある農業・農村づくり			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業の概要 1 本市をメイン会場として開催される第9回全国和牛能力共進会に協力し、盛り上げるにより、鳥取和牛の振興及び地元産食材等の「おいしさ」を県内外からの客(消費者)へ認知してもらうとともに、米子の観光・文化・物産を紹介し、地域産業の振興を図る。 2 事業効果 本市畜産事業の振興と本市の知名度・イメージの向上が期待できる。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					11	需用費	350						
					14	使用料及び賃借料	1,650						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 全国和牛能力共進会(H19.10.11~10.14開催)会場内に米子ブースを設置する。 市内に告知及び歓迎用看板を設置する。 宿泊・飲食施設等に歓迎ステッカーを配布する。					6. 財源の説明 1 財源の説明 米子ブース(10m×10m)リース一式 1,650,000円 歓迎看板設置(3か所) 110,000円+90,000円+50,000円=250,000円 歓迎ステッカー作成 @100円×1,000枚=100,000円 2 事務事業評価の反映状況 評価提出中								
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 農林水産業費 03 水産業費 04 漁港建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2505000000					
					うち復活額	一般財源	所属課名	水産振興室						
大 中 小 細 事業	001 皆生漁港整備事業 00 00 0	130,000	130,000	220,000	220,000	0	0	内線番号	実施計画計上額					
財源内訳									国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業概要 水産物の生産流通機能の増大を図り、水産物の安定供給と漁業地域の活性化を目的として国に事業採択を受けた事業により年次的に漁港整備を行う。					区分	金額		財源	款	項	目	節	金額	
事業の必要性 皆生漁港は昭和59年に漁港指定を受けて以来、年次的に防波堤、係留施設等の整備を行ってきた。現在、係留施設整備、港内静穏度の確保については、一定の成果を見ているが、漁港開口部における入出港時の波浪、漂砂への対策が急務となっている。については、航路の維持浚渫費用の縮減、漁業活動の促進等、漁家経営の安定化を図るためにも事業継続が必要である。					2	給料		都道	16	02	04	03	004	110,000
					4	共済費	243							
2. 根拠法令 漁港漁場整備法等 関係法令					7	賃金	1,790	地方	22	01	02	03	001	110,000
					9	旅費	146							
3. 用地の状況					11	需用費	399							
					12	役務費	55							
4. 基本計画との関連					13	委託料	2,686							
					14	使用料及び賃借料	572							
5. 本年度の計画効果 計画 防波堤据付工事を行う。 工事費 214,000千円 測量及び試験費 2,686千円 事務費 3,314千円 効果 漁業活動の安全性確保、操業性・利便性の向上と共に航路浚渫費用の縮減を図る施設整備を行うことにより、生産性の増加、漁家経営の安定化が図られる。					15	工事請負費	214,000							
					18	備品購入費								
6. 財源の説明 1 財源内訳 県補助金(補助率1/2) 110,000千円 地方債 110,000千円 2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・現状維持 北防波堤工事が完了した段階で全体事業計画の見直しを行う					19	負担金補助及び交付	100							
					27	公課費	9							
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000		
項	01 商工費							所属課名	商工課		
目	02 商工業振興費	26,083	26,083	22,946	22,946	0	0	内線番号			
大	028 企業立地促進補助金							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき	
小	00		0	0	0	0	22,946		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	
細	0		0	0	0	0	0		0	0	
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳			
(1)事業の概要								区分			
企業誘致を推進していくためには、各種基盤整備や用地、労働力の確保なども必要であるが、企業の地方進出意欲を醸成し、進出を決定づけるためには企業から見た経済的なメリットもより重要な要素になる。また、新たな雇用を創出する地元企業の増設や移転についても誘致企業と同様に支援していく必要がある。このような状況の中で、誘致企業や増設、移転しようとする既存企業を支援する米子市独自の優遇制度を適用することで、米子市の企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。								金額			
(2)事業効果								19 負担金補助及び交付			
本市への企業進出意欲を増大させる要因となるとともに、地元企業の設備投資及び雇用の増加が期待でき、本市経済の活性化に寄与する。								金額			
2. 根拠法令											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果											
(1)事業計画											
工場立地促進補助金...操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年度における投下固定資産に係る固定資産税相当額											
雇用促進補助金...新規常用雇用者数×30万円(当面は10万円×3年)											
(雇用期間が1年を超える新規常用雇用者が10人(中小企業は3人)となるもの)											
平成19年度交付予定											
工場立地促進補助金 2社 10,046,000円											
雇用促進補助金 4社 12,900,000円											
計 22,946,000円											
平成18年度交付予定											
工場立地促進補助金 2社 13,082,998円											
雇用促進補助金 4社 13,000,000円											
計 26,082,998円											
6. 財源の説明											
(1) 他市の状況											
鳥取市企業立地促進補助金...投下固定資産額に一定率(0.5%~5%)を乗じた額と、新規雇用者数に10万円を乗じた合計額を交付。											
倉吉市企業立地奨励事業補助金...用地の取得額に一定率(15%~20%)を乗じた額を交付											
境港市企業立地促進補助金、境港市工場立地促進補助金...操業開始時における当該固定資産に対する固定資産税相当額を3年間に分割して交付。											
(2) 事務事業報告の反映状況											
評価結果・・・現状維持											
企業の進出状況、鳥取県及び他市の動向によっては見直しを検討。											
目的別											
性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2503000000	所属課名 商工課	内線番号																																														
					うち復活額	一般財源																																																		
大 事 業	032 流通業務団地立地促進補助金	17,134	17,134	12,527	12,527	0	0																																																	
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額																																													
小 事 業	00								章	『産業』がいきいき																																														
細 事 業	0								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5"></th> <th colspan="2">節</th> <th colspan="4">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="5"></th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>財源</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目 節 細節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" rowspan="2"> 1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する 流通業務施設立地補助金 補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額 補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間 雇用促進補助金 補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る) 支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出 </td> <td>19</td> <td>負担金補助及び交付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12,527</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>																節		本年度の財源内訳									区分	金額	財源	款	項	目 節 細節	金額	1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する 流通業務施設立地補助金 補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額 補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間 雇用促進補助金 補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る) 支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出					19	負担金補助及び交付					12,527											
					節		本年度の財源内訳																																																	
					区分	金額	財源	款	項	目 節 細節	金額																																													
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する 流通業務施設立地補助金 補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額 補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間 雇用促進補助金 補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る) 支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出					19	負担金補助及び交付					12,527																																													
2. 根拠法令 米子流通業務団地立地促進補助金交付要綱																																																								
3. 用地の状況																																																								
4. 基本計画との関連																																																								
5. 本年度の計画効果																																																								
平成18年度交付予定 流通業務施設立地補助金 16,034,000円 雇用促進補助金 1,100,000円 3月補正予定分 105,000円 計 17,029,000円 平成19年度予算 流通業務施設立地補助金 11,827,000円 雇用促進補助金 700,000円 計 12,527,000円																																																								
6. 財源の説明 事務事業評価・・・現状維持																																																								
目的別 性質別																																																								

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2503000000				
					うち復活額	一般財源	所属課名	商工課					
		0	2,000	1,150	1,150	0	0	内線番号					
大 中 小 細	060 都市エリア産学官連携促進事業 00 00 0	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
			0	0	0	0	1,150		章	『産業』がいきいき			
				0	0	0	1,150	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0		
				0	0	0	1,150	細節	工業の振興		0		
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
<p>【事業概要】地域の主体性のもと、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成を図る。平成18年4月、鳥取県が提案した「染色体工学技術による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」が文部科学省に採択され、平成18年6月から事業開始。当該事業は、食品製造業が集積している米子・境港エリアの特性を生かした産学官共同研究。【参画機関】鳥取大学、県産業技術センター、民間企業10社(内、市内企業4社)【事業機関】H18~20年度</p> <p>【必要性】1. 鳥取大学の先端技術と地元企業等が有する水産バイオマスの独自技術が連携し、新産業を創出するものであり、本市への大きな経済効果と健康長寿社会の発展に大きく貢献すると見込まれる。2. 国費は地域資金の額によって決定されるマッチングファンド形式であため、地域資金の確保が全体事業費を担保する必須条件になっている。</p>					区分		金額		財源		款 項 目 節 細節		金額
					19 負担金補助及び交付		1,150						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<p>1. ヒト染色体ベクターを利用した機能性評価技術の開発研究の推進</p> <p>2. 動物・ヒト臨床による機能性評価法の開発研究の推進</p> <p>3. 水産資源からの機能性食品素材・食品開発の推進</p> <p>4. マーケティング・技術開発動向調査による事業化検討の推進</p> <p>5. シンポジウム、成果普及発表会の実施による啓蒙普及</p> <p>6. 鳥取大学と共同研究を行っている地元企業への研究開発支援</p> <p>7. 科学技術コネクティヴによる研究成果の推進と研究成果の事業化に向けての活動推進</p>													
<p>予算要求額</p> <p>交流事業・共同研究事業実施負担 1,150千円</p>													
6. 財源の説明													
<p>【財源内訳】</p> <p>・交流事業(シンポジウム、成果普及発表会) 625千円</p> <p>・共同研究事業支援 525千円</p> <p>計 1,150千円</p>													
<p>【事務事業評価】</p> <p>3年間にわたる事業計画を推進することにより、事業全体としての成果を出すことが可能になるため、継続実施する必要がある。</p>													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	2503000000				
項	01 商工費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	商工課					
目	02 商工業振興費	0	0	1,939	1,636	0	内線番号						
大	061 弓浜絰産地維持緊急対策事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中	00							章	『産業』がいきいき				
小	00							節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
細	0							細節	工業の振興				
								0					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
(1) 事業の概要と必要性					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜絰」は、事業者の激減と技術保持者の減少・高齢化により、このままでは10数年後に産地として消滅する可能性がある。このため、県は生産設備の共同利用等、生産の拠点である「弓浜がすり伝承館」を平成18年度事業として改修整備することに併せ、平成19年度から、鳥取県、米子市、境港市が協調して、弓浜絰技術者の後継者育成事業を実施する。					19 負担金補助及び交付		1,636						
【事業内容】・事業実施者 鳥取県弓浜絰協同組合 ・実施場所 弓浜がすり伝承館 ・研修生 3名を公募(全国公募、地元優先) ・研修期間 3年間(週5日研修) ・事業費 講師・事務員人件費、材料費、光熱水費、研修生支援費													
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明								
1 効果					【財源内訳】								
・零細な弓浜絰事業者が後継者を育成することができない危機的な状況を回避し、技術後継者へ意欲のある人材を発掘し、技術の伝承を図ることができる。					・平成19年度事業費 7,877千円(7月から事業開始、9月から研修開始予定)								
・弓浜絰事業者に事業継続への活力を喚起することができるため、産地の維持に大きな効果がある。					内訳 国 1,210千円 鳥取県 3,272千円								
・研修生への支援により、研修生が集中して技術研修を受けることができる。					米子市 1,636千円 境港市 1,636千円 その他 123千円								
・弓浜絰の販路開拓、販路拡大につながる新たな事業展開への誘因効果がある。					・平成20年度以降 11,517千円(通年ベース)								
2 今後の事業展開					内訳 国 1,660千円 鳥取県 4,867千円								
・当該事業は当面1回(3年間)実施し、2回目以降は1回目の成果を見極めて検討する。					米子市 2,434千円 境港市 2,434千円 その他 123千円								
・人材育成事業に併せて、観光事業との連携や新商品開発など、販路拡大につながる事業を検討する。					【県、境港市の状況】 予算要求済み								
3 特記事項					【事務事業評価】								
県が平成18年度事業として実施する弓浜がすり伝承館の改修事業は、この後継者人材育成事業の実施が前提となっており、当該事業が実施できなければ、当該施設の改修凍結だけでなく、施設の存続に関わってくる。					実施は適当である。								
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000				
項	01 商工費							所属課名	商工課				
目	02 商工業振興費	0	0	3,000	1,000	0	0	内線番号					
大	062 中小企業新製品新技術開発促進補助金							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき			
小	00		0	0	0	0	1,000		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0		
細	0								細節	工業の振興			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
【事業概要】 中小企業が新技術、新製品の開発を目的として行う研究、試作に係る費用(産学連携を含む)及び開発された新技術、新製品の販路開拓(展示会出展、製品PR、パッケージデザイン等)に係る費用に対して補助金を交付する。 【必要性】 全国的な景気回復の兆しが山陰には反映していない状況の中、本市経済の発展のためには地場産業の発展が必須である。中小企業の新技術・新製品の開発への取り組みは、企業の存続や事業規模の拡大にとって重要な要素であるが、経営体質の弱い中小企業にとってはその費用を捻出することが困難な状況であるため、新製品開発等への取り組みに要する経費への補助制度を創設し、新事業展開への促進を図る必要がある。					区分		金額	財源	款	項目	節	細節	金額
					19	負担金補助及び交付	1,000						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の新技術・新製品の開発への取り組みを促進することができ、新技術・新製品の開発による経営体質の強化が期待できる。 大学、高専等との産学連携による新技術・新製品の開発を促進することができる。 製品開発から販路開拓までを補助対象とすることにより、製品化の可能性が高まる。 													
6. 財源の説明													
【補助内容】 新技術・新製品開発補助 対象経費：150万円まで 補助率：2 / 3 補助限度額：100万円 対象件数：1件													
【事務事業評価の反映状況】 「中小企業新分野進出補助金を廃止すると同時に、本市中小企業の新技術・新製品開発を促進する新たな補助制度を創設する。」という評価結果に基づき、本補助制度を新たに創設する。													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2504000000					
項	01 商工費							所属課名	観光課					
目	03 観光費	38,418	38,653	33,533	32,831	0	0	内線番号						
大	002 観光協会助成事業							実 施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小	00		0	0	0	0	32,831		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
細	0		0	0	0	0			細節	観光地としての魅力づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の概要 観光イベント事業の実施並びに協力、顧客をしぼった効果的な観光客誘致宣伝の実施、 受け地の魅力作り、等を行う。 (2) 事業の効果 事業の実施により、入込み客増加を図り、地域の振興の効果を生み出している。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
					19	負担金補助及び交付	32,831							
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
(1) 事業計画 ・地元企業、地元団体の関係先への誘客活動 ・地元企業商品とタイアップした情報発信 ・県外でのイベントに物産、観光コーナー開設 ・米子発の中海圏域、大山圏域をめぐる観光周遊バスの整備・協力 ・かにバスの運行、協力 ・首都圏のメディアを利用した誘客 ・首都圏対策関係者店舗を利用した宣伝 ・皆生温泉海水浴場の清掃事業 ・山陰中央リゾート協議会との共同事業 ・米子空港利用促進懇話会との共同事業 ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等マスメディアを利用した観光宣伝 ・ポスター、リーフレット、散策マップの作成、配布 ・電照広告、野立広告による観光宣伝 ・会員研修、下町ガイド研修による受け地のホスピタリティの向上 ・米子市観光キャンペーン事業(城山フェスティバル、加茂川まつり等)の実施 (2) 事業効果 上記の事業実施により、受け地の魅力が向上され、観光客が増加し地域が活性化される。					6. 財源の説明									
					1 財源内訳 一般財源 2 事務事業評価の反映状況 評価の結果・・・効率化・改善 人件費削減に着手し、7%の基本給カットを行う。他方で事業の見直しを進める。									
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2504000000											
					うち復活額	一般財源	所属課名	観光課												
大 事 業		261,032	258,403	247,853	227,853	0	0	内線番号												
中 事 業								財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画						
小 事 業														0	0	0	7,631	220,222	0	
細 事 業																			0	
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳												
(1) 事業の概要 財団法人とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援し活用を図る。また、米子コンベンションセンターの管理運営においては、平成18年度から指定管理者制度を導入したところであるが、さらなる経費節減を図るとともに利用者に対するサービスの向上に努める。								財源 款 項 目 節 細 節 金額												
(2) 事業効果 平成17年度鳥取県において、直接的経済効果37億7,000万円、間接的効果24億5,900万円の計62億2,900万円の波及効果があったと推計される。大会、学会等の誘致により参加者の宿泊、飲食、観光等に経済効果があらわれ、地域経済の活発化に繋がる。								使用 14 01 06 01 003 7,631												
2. 根拠法令					4 共済費			行政財産使用料												
3. 用地の状況					7 賃金															
4. 基本計画との関連					9 旅費			4												
5. 本年度の計画効果					11 需用費															
(1) 事業計画					12 役務費			107												
1. (財)とっとりコンベンションビューローに関するもの					13 委託料			108,423												
(財)とっとりコンベンションビューロー運営費補助					14 使用料及び賃借料															
大会開催補助					15 工事請負費															
連絡調整会議への出席					17 公有財産購入費			102,655												
2. 米子コンベンションセンターに関するもの					18 備品購入費															
米子コンベンションセンター指定管理委託					19 負担金補助及び交付			16,664												
米子国際会議場に係る備品購入費					24 投資及び出資金															
3. 米子駅前簡易駐車場に関するもの																				
米子駅前簡易駐車場管理運営業務委託																				
米子駅前簡易駐車場用地・建物購入費の償還																				
(2) その他特記事項																				
6. 財源の説明																				
(1) 財源の説明																				
米子駅前簡易駐車場の土地使用料、駐車場使用料 7,596,453円																				
(2) 他市の状況																				
・大会開催補助 平成19年度米子CB対象予定総額 6,500千円×1/2																				
・コンベンションビューロー運営費補助																				
鳥取市：8,149千円、倉吉市：2,778千円、境港市：1,087千円																				
評価結果...現状維持、改善効率化																				
国際会議場の管理運営を適切に行い、指定管理者制度の導入とともに利用者ニーズに即したサービスとし、利用者側に立ったサービスの向上に努め、一層の経費削減と費用対効果の増大を目指す。																				
また、コンベンションの誘致、企画プロデュース、広報宣伝に努め、県外からの参加者の増大を狙う。運営経費は、平成19年度から県・4市の負担割合の見直したところだがさらに、改善に向けて協議をする。																				
簡易駐車場の管理運営については、一層の経費削減と目的外利用の排除に向けた改善策を探索する。																				
目的別 性質別																				

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号						
					うち復活額	一般財源										
大 事 業	008 観光案内板等整備事業	4,500	4,500	1,500	1,000	0	0									
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	本年度の財源内訳							
小 事 業	00								0	0	500	実施計画計上額				
細 事 業	0											0				
1. 事業の概要と必要性 旧米子市と旧淀江町の合併に伴い、従前あった観光案内板を一新し、新米子市の観光案内として、ふさわしいものとする。					節			本年度の財源内訳								
					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額	
					13	委託料	1,000	都道	16	02	01	01	029		500	
					15	工事請負費										
2. 根拠法令																
3. 用地の状況																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果 @ 250,000円 × 4箇所(旧米子地域1箇所、旧淀江地域3箇所) = 1,000,000円 国指定史跡福市遺跡 1箇所(園路、駐車場) 天の真名井 2箇所(駐車場、池の横) 伯耆古代の丘公園 1箇所(駐車場) 全部で4箇所の観光案内板を整備し、新米子市として入込み客の利便性を図る。					6. 財源の説明 鳥取県合併支援交付金 充当率 1/2 1,000千円 × 1/2 = 500千円											
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額		一般財源	所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号
大 事 業	051 米子がいな祭補助事業	7,200	7,200	5,760	5,760	0	0				
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	5,760	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子 『産業』がいきいき 地域の活力を生み出す産業のまちづ 観光地としての魅力づくり	実施計画計上額 0
小 事 業	00										
細 事 業	0										
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>(1) 事業の概要 米子がいな祭に補助金を支出し、財政面から支援を行う。</p> <p>(2) 事業の効果 地域住民の触れ合いの場を創出し、連帯感を高めふるさと意識の高揚を図る。 また、一大観光イベントとして地域経済を活性化させる。</p>											
<p>2. 根拠法令</p>											
<p>3. 用地の状況</p>											
<p>4. 基本計画との関連</p>											
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>(1) 事業計画 がいな祭 総予算27,290,000円のうち、事業費を除く、事務費、会議費、清掃費、 交通対策費、宣伝費を対象に補助する。</p>											
<p>6. 財源の説明</p> <p>財源内訳 一般財源</p>											
<p>目的別 性質別</p>											

歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号																																					
					うち復活額	一般財源																																									
大 事 業	070 和牛共進会関連観光宣伝推進事業	0	0	6,000	1,750	0	0																																								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子	実施計画計上額																																					
小 事 業	00								『産業』がいきいき																																						
細 事 業	0								地域の活力を生み出す産業のまちづ	0																																					
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">節</th> <th colspan="6">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="3">金額</th> <th>財源</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>節</th> <th>細</th> <th>節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>需用費</td> <td colspan="3">1,750</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節					本年度の財源内訳						区分		金額			財源	款	項	目	節	細	節	金額	11	需用費	1,750										
節					本年度の財源内訳																																										
区分		金額			財源	款	項	目	節	細	節	金額																																			
11	需用費	1,750																																													
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>1 事業概要 第9回全国和牛能力共進会の開催に併せて、本市の観光案内、観光宣伝を実施する ・日時 平成19年10月11日(木)～14日(日) ・場所 米子市崎津団地 観光パンフレットの作成、配付及び観光案内</p> <p>2 必要性 全国から訪れる16万人に本市の魅力をアピールし、観光客としてのリピーターを増やすことが重要である</p> <p>2. 根拠法令</p> <p>3. 用地の状況</p> <p>4. 基本計画との関連</p> <p>5. 本年度の計画効果</p> <p>1 観光パンフレットの作成、配付 会場等での観光案内用観光パンフレットを作成、配付し、米子周辺の観光スポット等を案内する。約16万人の来場が予想されており、全国の多くの方に大山・中海圏域の魅力をアピールする絶好の機会である。</p> <p>6. 財源の説明 財源内訳 一般財源</p>																																															
<p>目的別 性質別</p>																																															

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	2504000000												
項	01 商工費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	観光課													
目	03 観光費	0	0	1,185	990	0	内線番号														
大	071 エコツーリズム推進事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額										
中	00								0	0		990	章	『産業』がいきいき							
小	00								0	0		0	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ							
細	0								0	0		0	節	観光地としての魅力づくり							
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳													
1 事業概要 中海・宍道湖がラムサール条約登録され、また、エコツーリズム推進法も検討されていることから、本市の自然環境を守るとともに活用することを目指す。 日本エコツーリズム協会エコツアーガイド・コーディネーター養成講習会の招致支援開催招致経費 1,000千円 補助率1/3(事業主体・鳥取県・米子市が各1/3負担) 米子市観光協会エコツーリズム推進補助事業 エコツアー商品開発調査、エコツーリズム推進講習会、ライフセーバーウォーク、リスタートメニュー等の実施 2 必要性 エコツーリズムを推進することで本市固有の歴史文化や自然環境を保全するとともに観光資源としても活用して地域の活性化を図る。								節		金額		財源		款		項目		節		金額	
								9 旅費		57											
								13 委託料													
								19 負担金補助及び交付		933											
2. 根拠法令																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果 1 観光関係者及び市民の環境保護活動への意識を高揚するとともに参加を促進し、また、エコツアーガイド・コーディネーターを養成し、本市が率先して環境問題に取り組む「エコ観光地」としてアピールする。 2 環境保全とその活用とのバランスの取れた質の高い観光地の実現を目指す。 3 エコツアーガイド・コーディネーターによる新たなエコツアー商品の開発を目指す。 4 エコツーリズムを推進するために、関係者の講習会を開催する。																					
6. 財源の説明 財源内訳 一般財源																					
目的別 性質別																					

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 02 02	土木費 道路橋りょう費 道路維持費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000							
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課								
大事業	001	道路維持補修事業	211,207	216,207	171,290	166,275	0	0	内線番号								
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額					
小事業	00									0	0		0	40,405	125,870	章	『よなご』がいきいき
細事業	0									0	0		0	40,405	125,870	節	交流と連携を育むまちづくり
										細節	総合的な交通体系の整備		0				
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳								
<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的 道路の陥没、舗装面の破損等を速やかに補修し、車両及び歩行者の安全な通行を確保する。 ・事業効果 迅速に作業を行うことにより、事故を未然に防ぎ、万一事故が起きた場合でも被害を最小限に抑えることができる。 						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額			
						1	報酬			使用	14	01	07	01	001	39,500	
2. 根拠法令						4	共済費										
						8	報償費			使用	14	01	07	01	002	3	
						11	需用費										
						12	役務費			使用	14	01	07	01	004	902	
						13	委託料										
						14	使用料及び賃借料										
						15	工事請負費										
						16	原材料費										
						18	備品購入費										
						22	補償補填及び賠償金										
3. 用地の状況																	
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果																	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 市内一円道路補修工事 134,300千円 市内一円交通安全施設維持補修工事 5,332千円 市内一円道路除草委託 11,000千円 市内一円街路樹剪定委託 3,000千円 市内道路補修に伴う測量委託 3,000千円 工食用材料購入 3,000千円 物件移転補償 4,000千円 事務費(土地借料等) 7,459千円 																	
6. 財源の説明																	
(1) 財源の説明																	
使用料						道路占用料 NTT, 中国電力、中海テレビ等											
						法定外公共物使用料 NTT, 中国電力等											
						行政財産使用料 中国電力											
(2) 事務事業評価の反映状況																	
充実・拡大																	
今後さらに舗装の老朽化が進むこと、また、新たな市道認定にともなう管理対象道路の増加により、維持補修工事件数が増加すると考えられ、事業を拡大せざるを得ない状況である。																	
目的別																	
性質別																	

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3002000000													
項	02	道路橋りょう費							所属課名	土木課													
目	05	道路新設改良費	240,000	240,900	320,000	200,000	0	0	内線番号														
大	001	道路新設改良事業(通常分)							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額											
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき												
小	00			0	0	200,000	0	0		節	交流と連携を育むまちづくり												
細	0									細節	総合的な交通体系の整備												
										本年度の財源内訳													
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳															
(1) 事業の概要						区分		金額		財源		款		項目		節		金額					
道路は地域住民生活環境の向上を図るための基本的な施設である。 本事業は狭幅道路の改良を図り、その道路空間を利用することにより住環境の向上改善を図る。						11		需用費		地方		22		01		03		01		001		200,000	
(2) 事業効果						13		委託料															
地域生活環境の向上と交通の円滑化が図られる。						14		使用料及び賃借料															
						15		工事請負費												164,000			
						17		公有財産購入費												5,000			
						22		補償補填及び賠償金												17,500			
2. 根拠法令																							
3. 用地の状況																							
4. 基本計画との関連																							
5. 本年度の計画効果																							
(1) 全体事業計画																							
危険度、困窮度、緊急度等の高い路線から年次的に整備を進めている。																							
(2) 本年度の事業内容																							
単独事業費要求内訳書のとおり																							
要求額																							
工事請負費 277,500千円																							
測量委託料 16,000千円																							
用地費 6,000千円																							
補償費 20,500千円																							
計 320,000千円																							
橋本石井線改良工事外33件																							
日原石井線改良工事外6件																							
一式																							
一式																							
6. 財源の説明																							
(1) 財源の説明																							
地方債 道路橋りょう事業債 充当率100%																							
320,000,000円×100% = 320,000,000円																							
(2) 事務事業評価の反映状況																							
現状維持																							
住民の要望に応じていきたいが、現在の財政状況を考慮すれば、困窮度を勘案し優先度により整備を進めていく。																							
目的別																							
性質別																							

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 03 02	土木費 河川排水路費 排水路維持費	前年度	前年度	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3002000000					
			当初予算	現計予算		うち復活額	一般財源	所属課名	土木課						
大 中 小 細 事業	001 00 00 0	排水路維持補修事業	100,516	95,881	75,208	75,213	0	0	内線番号						
			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	ゆとりある心豊かな米子			実施計画計上額	
				1,300	386	0	156	73,371		章	『暮らし』がいきいき				
									節	魅力あふれる定住のまちづくり			0		
									細節	快適な住環境の整備					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
・事業概要 既設排水路の改修及び補修を行い、雨水及び生活雑排水の排除を容易にし、不安のない市民生活を創造する。						区分			金額			財源 款 項 目 節 細節			金額
・事業の必要性 大雨等による浸水・冠水を防止するとともに、生活環境の改善を図るために必要である。						1	報酬	1,687	使用	14	01	07	02	002	156
						7	賃金	473							
						12	役務費	3	河川	14	01	07	002		
						13	委託料	14,000	国庫	15	03	04	001	1,300	
						14	使用料及び賃借料	50	都道	16	03	04	001	386	
						15	工事請負費	55,000							
						17	公有財産購入費								
						22	補償補填及び賠償金	4,000							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
・事業計画															
市内排水路補修工事						55,000千円									
市内排水路浚渫業務						11,000千円									
市内排水路補修に伴う測量業務						3,000千円									
物件移転補償						4,000千円									
・事業効果															
市内の浸水・冠水を防止し、市民の生活環境の改善が図られる。															
6. 財源の説明															
(1) 財源の説明															
その他															
河川使用料						河川使用者から徴収する使用料 年間 156,000円									
国、県支出金															
樋門管理委託金															
国管理、県管理の樋門の操作、点検を国、県から委託を受けたことに対する委託金															
国管理樋門分						1,300,000円									
県管理樋門分						386,000円									
(2) 事務事業評価の反映状況															
充実・拡大															
既設排水路の老朽化にともない、維持補修工事件数が増加すると考えられ、事業を拡大せざるを得ない状況である。															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3002000000					
項	03	河川排水路費							所属課名	土木課					
目	04	排水路新設改良費	36,000	66,800	46,000	36,000	0	0	内線番号						
大	002	排水路新設改良事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額			
中	00									章	『暮らし』がいきいき				
小	00			0	0	36,000	0	0		節	魅力あふれる定住のまちづくり	0			
細	0									細節	快適な住環境の整備				
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
(1) 事業の必要性						区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
市内の排水路の通水機能の向上を図り、緊急性の高い排水路から年次的に改良することにより浸水被害を解消し、良好な生活環境を整える。						13	委託料	1,000	地方	22	01	03	02	006	36,000
(2) 事業の必要性						15	工事請負費	34,500							
浸水被害を解消し、生活環境の向上を図るために必要である。						19	負担金補助及び交付	0							
						22	補償補填及び賠償金	500							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明									
(1) 事業内容						(1) 財源の説明									
排水路改良工事 L = 270m						地方債									
設計業務委託 1件						46,000,000円 × 100% = 46,000,000円									
(2) 事業計画						(事業費) (起債充当率)									
事業費						(2) 事務事業評価の反映状況									
工事請負費 46,000千円						現状維持									
設計委託料 34,500千円						今後とも、緊急性の高い箇所から年次的にすすめていく。									
負担金 1,000千円															
補償費(水道移転) 500千円															
(3) 効果															
浸水被害の解消と生活環境の向上に寄与できる。															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3004000000									
項	04	都市計画費							所属課名	都市計画課									
目	01	都市計画総務費	2,800	2,800	1,200	300	0	0	内線番号										
大	028	彫刻のあるまちづくり推進事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 細 節	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額							
中	00	章								『暮らし』がいきいき									
小	00	節								魅力あふれる定住のまちづくり									
細	0	節								都市景観の形成									
										0									
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳										
平成8年に策定した「彫刻のあるまちづくり」基本計画に基づき、米子彫刻シンポジウムで製作された作品を、駅周辺・加茂川沿い・湊山公園等の約5kmの彫刻ロードに設置している。現在、彫刻ロードには36基の彫刻が設置されているが、全体の配置を示す案内板や解説板がないため、彫刻ロードの利用促進が図られていない状況にある。今後、彫刻ロードの魅力を高め、利用者を増やすために、案内板等を整備する。						区分		金額		財源		款		項目		節		金額	
						11	需用費												
						15	工事請負費		300										
2. 根拠法令																			
3. 用地の状況																			
4. 基本計画との関連						彫刻のあるまちづくり基本計画													
5. 本年度の計画効果						文化ホール前等に案内板を設置することにより、彫刻ロードの利用促進を図ることが出来る。 H19設置予定 1箇所(要求時 2箇所)													
6. 財源の説明																			
目的別 性質別																			

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3004000000						
項	04	都市計画費							所属課名	都市計画課						
目	01	都市計画総務費	50,000	50,000	50,000	5,550	0	0	内線番号							
大	031	旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額			
中	00	章								『暮らし』がいきいき						
小	00	節								魅力あふれる定住のまちづくり						
細	0	細節								都市景観の形成						
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳								
事業の概要 旧加茂川・寺町周辺地区約2.4haは、歴史的資産又は歴史的風致を形成している街なみを有する地域として、平成11年に景観形成地域に指定している。歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図る目的で、地区住民と市が協働で街なみ整備を進めていくものであり、平成16年度は事業計画を策定し、平成17年度から事業着手している。						区分		金額		財源	款	項	目	節	細節	金額
事業効果 住民は、街なみに配慮した住宅の改造、敷地の緑化等を行い、市は街なみに配慮した道路の美装化・小公園等の整備を行うことにより、旧加茂川・寺町周辺地区が持つ土蔵や町家景観などの歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図ることができる。						9	旅費	19	国庫	15	02	05	03	013		2,775
2. 根拠法令 景観形成条例に基づく景観形成地域の指定、景観形成市民団体及び景観形成協定の認定						11	需用費	81								
3. 用地の状況						12	役務費	0								
4. 基本計画との関連 米子市景観形成条例、米子市景観形成基本計画						13	委託料	0								
5. 本年度の計画効果 事業内容 用地測量1式 用地費 街かど広場用地買収A=690㎡ 工事費 案内施設整備N=2基 街なみ整備助成事業補助金 10件						15	工事請負費	450								
6. 財源の説明 1 財源内訳 国費25,000千円 地方債18,700千円 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持 今後の事業実施にあたっては現状維持とするが、住民のニーズや社会的構造の変化等に柔軟に対応し、地域住民、民間事業者、行政が役割分担を明確にし、それぞれの立場でできることを実践していく。						17	公有財産購入費	0								
						19	負担金補助及び交付	5,000								
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款	08 土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3005000000																										
項	04 都市計画費							所属課名	建築指導室																										
目	04 建築指導費	0	0	2,352	2,304	0	0	内線番号																											
大	016 耐震改修促進計画策定事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額																							
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいきいき																									
小	00		1,150	0	0	0	1,154		節	魅力あふれる定住のまちづくり																									
細	0								細節	災害に強い地域社会づくり																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">節</th> <th colspan="2">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>財源</th> <th>款 項 目 節 細節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 旅費</td> <td>4</td> <td>国庫</td> <td>15 02 05 03 020</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>11 需用費</td> <td>300</td> <td></td> <td>住宅・建築物耐震改修等事業費補助</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 委託料</td> <td>2,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												節		本年度の財源内訳		区分	金額	財源	款 項 目 節 細節	金額	9 旅費	4	国庫	15 02 05 03 020	1,150	11 需用費	300		住宅・建築物耐震改修等事業費補助		13 委託料	2,000			
節		本年度の財源内訳																																	
区分	金額	財源	款 項 目 節 細節	金額																															
9 旅費	4	国庫	15 02 05 03 020	1,150																															
11 需用費	300		住宅・建築物耐震改修等事業費補助																																
13 委託料	2,000																																		
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>1. 事業の概要 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第5条第7項及び同法に基づく国の基本的な方針並びに県の耐震改修促進計画を勘案して、防災上重要な建築物や住宅の耐震診断、耐震改修の目標、目標達成のための施策、地震に対する安全性向上のための啓発等の方法を検討し、建築物の耐震化を計画的にかつ重点的に推進するための計画を策定する。</p> <p>2. 事業効果 本計画に、耐震診断・耐震改修等の事業計画を定め、補助事業を実施する場合、国及び県の補助金が利用できる。又、市民が住宅の耐震改修を行なった場合、一定要件のもとに所得税額の特別控除を受けることができる。</p> <p>2. 根拠法令 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第7項</p> <p>3. 用地の状況</p> <p>4. 基本計画との関連</p> <p>5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 耐震改修促進計画の策定(事業期間：平成19年度) 耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標設定 耐震診断、耐震改修の促進を図るための施策の検討 建築物の地震に対する安全性の向上に関する啓発及び知識の普及に関する検討 建築基準法、耐震改修促進法による指導、勧告又は命令等の実施の方法等の検討 計画策定に係る検討委員会の運営</p> <p>6. 財源の説明 1. 財源内訳 (1) 補助事業名：(国)住宅・建築物耐震改修等事業 (2) 補助率：耐震化の計画策定に係る経費(国1/2、市1/2) 2. 他市の状況 鳥取、倉吉、境港の各市においても、平成19年度中の策定を予定している。 3. 事務事業評価の反映状況 実施</p>																																			
<p>目的別 性質別</p>																																			

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 04 06	土木費 都市計画費 錦海団地分譲事業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3001000000																																																																																																								
						うち復活額	一般財源	所属課名																																																																																																										
大事業	001	錦海団地分譲事業	48,388	123,641	256,485	256,139	0	0	内線番号																																																																																																									
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額																																																																																																							
小事業	00															『暮らし』がいきいき																																																																																																		
細事業	0									0		0	0	164,640	91,499	魅力あふれる定住のまちづくり																																																																																																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">節</th> <th colspan="6">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">金額</th> <th colspan="2">財源</th> <th colspan="2">款</th> <th colspan="2">項</th> <th colspan="2">目</th> <th colspan="2">節</th> <th colspan="2">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>賃金</td> <td></td> <td>100</td> <td>財産</td> <td>17</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>002</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>164,640</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>需用費</td> <td></td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>役務費</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>委託料</td> <td></td> <td>256,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="16"> 造成地売払収入（錦海団地） </td> </tr> </tbody> </table>											節						本年度の財源内訳						区分		金額		財源		款		項		目		節		金額		7	賃金		100	財産	17	02	01	01	002					164,640	11	需用費		30												12	役務費		9												13	委託料		256,000												造成地売払収入（錦海団地）															
節						本年度の財源内訳																																																																																																												
区分		金額		財源		款		項		目		節		金額																																																																																																				
7	賃金		100	財産	17	02	01	01	002					164,640																																																																																																				
11	需用費		30																																																																																																															
12	役務費		9																																																																																																															
13	委託料		256,000																																																																																																															
造成地売払収入（錦海団地）																																																																																																																		
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>事業の概要 住宅建築のための宅地需要に対し、道路・公園等の住環境の整備された優良な宅地(残13区画)を供給し、計画的な住宅街の形成を図ることを目的とする事業。その目的の達成のために、水面埋立法の手法により生み出した祇園町沖25.4haについて、一団の住宅地として低層住宅及び集合住宅等の誘導を図り、緑豊かな居住環境を創出するとともに、機能的で快適な団地として分譲事業を実施する。</p> <p>事業の効果 平成元年の事業開始以来、平成18年度までに142,005㎡の分譲を行い、錦海町一丁目～三丁目まで均整のとれた美しい町並みを形成しつつある。</p>																																																																																																																		
2. 根拠法令																																																																																																																		
3. 用地の状況																																																																																																																		
4. 基本計画との関連																																																																																																																		
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>事業計画 ・一般分譲用地残区画につき、早期の分譲完了を図る。</p>																																																																																																																		
<p>6. 財源の説明</p> <p>錦海団地分譲収入 1区画平均価格 16,072,008円 全区画売却すると見込んでの積算。 16,072,008円 × 13区画 = 208,936,104円</p> <p>事務事業評価の反映状況...現状維持 総区画数の9割以上が分譲済みであり、今後事務量が増加する可能性は少ないが、残区画を完売し、優良な住環境を確保するための努力が必要である。</p>																																																																																																																		
目的別 性質別																																																																																																																		

歳出予算事業概要書

款	08	土木費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	3003000000		
項	05	住宅費							所属課名	建築課		
目	01	住宅管理費	0	0	1,884	540	0	0	内線番号			
大	008	鳥取県西部地震被災者向け住宅資金利子補給事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいきいき	
小	00			0	0	0	0	540		節	魅力あふれる定住のまちづくり	
細	0			0	0	0	0	540		細節	快適な住環境の整備	
											0	
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳			
(1) 事業の概要						区分			金額			
平成12年に発生した鳥取県西部地震により住宅を被災され、住宅資金の融資を受けた者を対象として、鳥取県はその借入金に対し、融資を受けてから6年間分の利子補給を行っている。鳥取県の利子補給が終了した者に対し、米子市が引き続き、4年間分の利子補給を行う。						12 役員費			40			
(2) 事業効果						13 委託料			0			
地震被災者の住宅復興のための負担を軽減し、居住の安定を図る。						19 負担金補助及び交付			500			
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果												
(1) 事業計画												
平成18年度中に鳥取県が行う6年間分の利子補給(1回目から7回目)が終了し、引き続き、米子市に交付申請を行う者(旧米子市民及び旧淀江町民)に対し、8回目の利子補給を行う。						6. 財源の説明						
						(1) 財源の説明						
						一般財源を充てる。(補助制度無。県においても単独県費を充当。)						
						(2) 他市町村の状況						
						県西部他市町村において、同様の事業を行う例は無い。						
						(3) 事務事業評価の反映状況						
						2次評価区分・・・現状維持						
						鳥取県西部地震被災者救済のため実施は適当であり、対象者への周知を徹底し、利子補給金の申請を受理し、速やかに審査を行い、適正な給付を行っていく。						
目的別												
性質別												

歳出予算事業概要書

款 項 目	08 05 02	土木費 住宅費 住宅建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	3003000000					
						うち復活額	一般財源								
大事業	017	市営白浜住宅建替事業	34,140	33,918	274,074	274,074	0	0	所属課名	建築課					
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	内線番号						
小事業	00													実施計画計上額	
細事業	0								100,263	0	161,600	0	12,211	0	
1. 事業の概要と必要性						節		本年度の財源内訳							
事業概要 市営白浜住宅は昭和35年、昭和45年～46年度に建設したもので、老朽化も著しいので、平成18年度～20年度の3カ年において建替を実施する。						区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額			
事業効果 建替を実施し、入居者に良好な居住環境の住宅の提供を図り、全体の住宅環境の向上を誘導していく。高齢者等が安心して生活できるバリアフリー住戸を建設し、世代やハンデキャップを越えて住民が共生できる住宅団地を創造する。						2	給料	4,153	国庫	15	02	05	04	009	100,263
2. 根拠法令 公営住宅法						4	共済費	0							
3. 用地の状況						7	賃金	0	地方	22	01	03	04	002	161,600
4. 基本計画との関連						9	旅費	39							
5. 本年度の計画効果						11	需用費	2,975							
事業計画 平成18、19年度を1期、19、20年度を2期としそれぞれ16戸ずつ合計32戸建設予定。19年度の事業内容は、木造平屋建6戸、RC造2階建8戸建設予定。						12	役務費	1,249							
計画効果 新市まちづくり計画及び地域住宅計画に基づき、中長期に亘る住宅供給を行う。交付金・起債を活用し、標準設計等を行い総合的なコスト縮減を図り、良好な住環境の整備を実施する。						13	委託料								
6. 財源の説明						15	工事請負費	257,870							
財源内訳 地域住宅交付金 交付対象事業費の45%に地域住宅交付金を充てる。19年度は101,343千円配分予定。 公営住宅建設事業債 移転費・民間住宅等借上補償費・駐車場整備費を除く交付対象事業費の55%に公営住宅建設事業債を充てる。						18	備品購入費	1,500							
事務事業評価の反映状況・・・実施 「本事業の実施を支持し、当該住宅は、本市の市営住宅の中で建築年次も一番古く、老朽化も著しいことから実施が適当である。」						19	負担金補助及び交付	536							
目的別 性質別						22	補償補填及び賠償金	5,743							
						27	公課費	9							

歳出予算事業概要書

款	09 消防費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	102000000				
項	01 消防費							所属課名	総務課				
目	02 消防施設費	0	0	14,092	12,600	0	0	内線番号					
大	014 耐震性貯水槽設置事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいきいき			
小	00			0	12,600	0	0		節	魅力あふれる定住のまちづくり			
細	0			0					節	災害に強い地域社会づくり		0	
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
大地震等の大規模災害時には、上水道及びそれを利用した消火栓が使用できない可能性があるため、大規模災害時における消防水利及び避難住民の生活用水（飲用水を除く）の確保を目的として、米子市地域防災計画において避難所に指定されている施設の敷地内を中心として、60立方メートル級の耐震性貯水槽を設置する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					13	委託料	1,300	地方	22	01	04	01	001
					15	工事請負費	11,300						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 事業計画 平成19年度については、大規模災害時における消防活動の中心となる米子消防署の敷地内に設置する。 (2) 事業効果 耐震性貯水槽の新設により、地震等災害時の消防水利の充実・確保を図ることができるのみならず、災害時の生活用水（飲用としては利用不可）としても利用可能であり、地域住民の生命・身体の安全に資するとともに、被害の軽減を図ることができる。					6. 財源の説明								
					(1) 財源の説明 消防庁の所管する「防災基盤整備事業」（起債事業 充当率75%、その元利償還金の30%に相当する額については、後年度、普通交付税の基準財政需用額に算入）として申請を行い一般財源の負担の軽減を図る。 (2) 他市の状況 倉吉市：7基設置済。今後については現在のところ計画なし。 境港市：設置なし。今後については現在のところ計画なし。 (3) 事務事業評価の反映状況 平成18年度事務事業評価2次評価に基づき実施する。								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	09 01 02	消防費 消防費 消防施設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 102000000	所属課名 総務課	内線番号				
						うち復活額	一般財源								
大 事 業	017	小型ポンプ積載車整備更新事業	13,000	13,000	19,530	13,000	0	0							
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額			
小 事 業	00			0	0	13,000	0	0		章	『暮らし』がいきいき				
細 事 業	0									節	魅力あふれる定住のまちづくり				
								細節		災害に強い地域社会づくり	0				
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
米子市消防団では全27分団中9分団については小型ポンプ付積載車を配備している。小型動力ポンプは昭和56年度から63年度にかけて、また、その積載車は昭和63年度から平成元年度にかけて整備したものであり(車尾分団についてはポンプ、車両とも平成16年度に更新)、ポンプ・車両ともに老朽化が進み、出動態勢に支障をきたしかねない状況である。平成18年度より3年間で、老朽化が進んでいる8分団の小型動力ポンプ、ポンプ積載車について更新整備する。						区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
						18	備品購入費	13,000	地方	22	01	04	01	001	
2. 根拠法令									消防施設整備事業						
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画 小型動力ポンプ付積載車 2台購入															
						(2) 事業効果 小型動力ポンプ付積載車を更新整備することにより、火災現場での効率的、効果的な消火活動につながり、地域住民の生命、身体の安全・財産の確保に資する。									
6. 財源の説明															
目的別 性質別									(1) 消防庁の実施する「防災基盤整備事業」(起債事業 充当率90%、その元利償還金の50%に相当する額については、後年度、普通交付税の基準財政需用額に算入)として申請を行い、一般財源の負担軽減を図る。						
									(2) 事務事業評価の反映状況 事務事業評価に基づき、計画的・効率的に更新整備を図る。						

歳出予算事業概要書

款 項 目	10 教育費 01 教育総務費 03 私立学校振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 5502000000	所属課名 学校教育課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	001 私立幼稚園運営費補助金	56,588	56,588	41,500	45,271	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	子育てを支援し、お年寄りが元気な 『ひと』がいいき 安心して健やかにくらす健康と福 安心して子育てができる環境づくり	実施計画計上額 0			
小 事 業	00										0	0	45,271
細 事 業	0										0	0	45,271
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
1 事業概要 本市における私立幼稚園が平成19年度に支出した運営費（施設整備の整備費を除く）に 対して補助をする。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
2 事業効果 本市における私立幼稚園の運営を助成することにより、幼児教育の充実を図る。					19	負担金補助及び交付	45,271						
2. 根拠法令 私立学校法第59条、私立幼稚園運営費補助金交付要綱													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
1 補助金の計算基準 園ごとに、次により算定した額の合計額とする。 (1) 均等割額 各幼稚園に対し一律200万円 (2) 教職員数割 30,000円に各幼稚園の教職員の数を乗じて得た額 (3) 園児数割 14,300円に各幼稚園の園児の総数に乗じて得た額													
19年度要求額は、経常41,500千円 + 枠外133,834千円 = 55,334千円					6. 財源の説明 1 財源内訳の積算基礎 すべて一般財源 2 事務事業評価の反映状況 現状維持								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5502000000																		
項	01 教育総務費							所属課名	学校教育課																		
目	03 私立学校振興費	81,800	81,800	61,200	81,600	0	0	内線番号																			
大	002 私立幼稚園就園奨励費助成事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	実	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額															
中	00								27,200	0	0		0	54,400	章	『ひと』がいきいき											
小	00														節	安心して健やかにくらせる健康と福											
細	0														細	安心して子育てができる環境づくり	0										
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳																			
1 事業概要 私立幼稚園の設置者が在園している園児の保護者に対して、当該年度に納付すべき市民税額による階層区分に応じ、保育料等を減免する場合に、減免相当額を補助する。					区分			金額			財源		款		項		目		節		細		節		金額		
2 事業効果 子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、幼児教育の重要性や少子化対策の点から、保護者の経済的負担の軽減により、幼児教育の機会均等が図られる。					19 負担金補助及び交付			81,600			国庫		15 02 06 01 001		私立幼稚園就園奨励費補助金										27,200		
2. 根拠法令 米子市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱																											
3. 用地の状況																											
4. 基本計画との関連																											
5. 本年度の計画効果																											
1 積算根拠(19年度見込み) 減免階層区分を4段階に分けて、該当見込み世帯数から事業額を積算																											
19年度要求額は、経常61,200千円 + 枠外20,400千円 = 81,600千円																											
6. 財源の説明																											
1 財源内訳の積算基礎 国の補助金1/3 一般財源2/3																											
2 事務事業評価の反映状況 現状維持																											
目的別 性質別																											

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5502000000				
項	01 教育総務費							所属課名	学校教育課				
目	03 私立学校振興費	9,600	9,600	6,555	8,740	0	0	内線番号					
大	003 私立幼稚園第三子保育料軽減事業							実施 計 画	部	子育てを支援し、お年寄りが元気な	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『ひと』がいきいき			
小	00			0	0	0	8,740		節	安心して健やかにくらせる健康と福			
細	0		0	0	0	0			細節	安心して子育てができる環境づくり			
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳					
1 事業概要 私立幼稚園に在園する世帯の第3子以降の園児に係る保育料の額(次に掲げる補助金による軽減額を控除した額とする。)を軽減する幼稚園に対し、軽減相当額を補助する。 ・ 鳥取県私立幼稚園同時在園保育料軽減事業補助金 ・ 市町村が行う幼稚園就園奨励費補助金								節		区分		金額	
2 事業効果 少子化対策の新規事業として、平成11年度から実施している事業であり、保護者の経済的負担の軽減に寄与している。								19		負担金補助及び交付		8,740	
2. 根拠法令 米子市私立幼稚園第3子保育料軽減子育て支援事業費補助金交付要綱													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
1 補助金積算根拠 該当者見込230人 平均単価@38,000円と仮定して積算 平成19年度要求額は、経常6,555千円 + 枠外2,185千円 = 8,740千円													
6. 財源の説明													
1 財源内訳の積算基礎 すべて一般財源													
2 事務事業評価の反映状況 現状維持													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5502000000				
項	02 小学校費							所属課名	学校教育課				
目	02 教育振興費	28,000	28,000	23,497	16,800	0	0	内線番号					
大	003 要保護準要保護児童就学援助(単独)							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき			
小	00		0	0	0	0	16,800		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・	0		
細	0		0	0	0	0			細節	豊かな心を育む学校教育の推進			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
1 事業の概要 経済的理由により就学困難な児童に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助することである。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
2 事業効果 就学に係る必要経費の一部を援助することにより家庭の経済的負担を軽減し、円滑な義務教育を実施することができる。					20	扶助費	16,800						
2. 根拠法令 学校教育法第25条、就学援助法等													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連 国庫補助金の廃止による各支給単価の改定													
5. 本年度の計画効果													
1 事業計画 学用品費、修学旅行費等の支給 平成17年度から国庫補助対象事業ではなくなったため、支給単価変更及び支給費目の検討をおこなった。													
2 支給費目 学用品費・新入学用品・修学旅行に要する経費													
3 事業効果 就学にかかる必要経費の一部を補助することで保護者の経済的負担を軽減し 円滑な義務教育の実施に貢献している。					6. 財源の説明 1 財源内訳 すべて一般財源 2 事務事業評価の反映状況 認定基準の見直し 統合・縮小								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5501000000								
項	02 小学校費							所属課名	庶務課								
目	03 学校建設費	3,000	987	32,730	29,500	0	0	内線番号									
大	022 弓ヶ浜小学校トイレ整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額					
中	00								章	『こころ』がいきいき							
小	00								節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・							
細	0								細節	豊かな心を育む学校教育の推進							
								本年度の財源内訳									
								区分		金額		金額					
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業の概要 弓ヶ浜小学校に女子トイレ棟を新築し、既存の男女共用トイレを男女別のトイレに改修する。 (2) 必要性 弓ヶ浜小学校は、児童の数に対しトイレの数が少なく、短い休憩時間に混雑し、次の授業に支障が生じているため。								15	工事請負費	29,500	財源	22	01	05	01	001	29,500
												地方		義務教育施設整備事業			
2. 根拠法令 学校教育法																	
3. 用地の状況																	
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 2階建ての女子トイレ棟を建築するとともに、既存のトイレを改修する。 トイレ棟 H18設計、H19工事 S造2階建て 49.82㎡ 既存トイレ改修 3カ所 (2) 効果 男女別トイレの設置により教育環境の向上が図られる。 参考 弓ヶ浜小学校児童数(H18.9.20現在) 597名								6. 財源の説明 1 財源内訳 一般財源 2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・現状維持									
目的別 性質別																	

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5501000000						
項	02 小学校費							所属課名	庶務課						
目	03 学校建設費	6,500	6,500	262,108	243,477	0	0	内線番号							
大	029 福米西小学校校舎増築事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額			
中	00								0	57	章		『こころ』がいきいき		
小	00										節		豊かな心を育む人権・教育と歴史・		0
細	0										細節		豊かな心を育む学校教育の推進		
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
事業の概要 福米西小学校既存校舎南側に教室棟を増築するものである。 RC造3階建て 655㎡(普通教室2室、多目的教室3室、パソコン教室1室)					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額			
必要性 福米西小学校は児童が急増しており、今後も増加の見込みである。平成23年度には最大4教室の不足が生じるため、校舎を増築し、あわせてパソコン教室、図工室の整備を行なう					9 旅費	33	国庫	15	02	06	02	001	63,720		
2. 根拠法令 学校教育法					11 需用費	350									
3. 用地の状況					12 役務費	210	地方	22	01	05	01	001	179,700		
4. 基本計画との関連					13 委託料	1,300									
5. 本年度の計画効果					15 工事請負費	240,784									
事業計画 平成18年度設計を発注し、本年度工事とする。 平成18年度で既存校舎の耐震診断をしており、結果により耐震補強工事設計及び耐震補強工事を行なう。					18 備品購入費	800									
効果 教室不足に対応し、教育環境の充実を図る。					19 負担金補助及び交付	0									
6. 財源の説明					1 財源内訳 (1) 国・県補助事業によるもの 補助事業名 公立学校施設整備費国庫補助(負担)金 補助積算内容 増築部分@143,200×655㎡×1/2 耐震工事 事業費×1/2 2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・現状維持										
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	10 教育費 03 中学校費 02 教育振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 5502000000	所属課名 学校教育課	内線番号	
					うち復活額	一般財源					
大 事 業	003 要保護準要保護生徒就学援助(単独)	26,000	27,843	27,092	16,706	0	0				
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『こころ』がいきいき 豊かな心を育む人権・教育と歴史・ 豊かな心を育む学校教育の推進	実施計画計上額 0	
小 事 業	00										
細 事 業	0										
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳			
事業の概要 経済的理由により就学困難な生徒に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助することである。 事業効果 就学に係る必要経費の一部を援助することにより家庭の経済的負担を軽減し、円滑な義務教育を実施することができる。					区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額
					20 扶助費		16,706				
2. 根拠法令 学校教育法第25条、就学援助法											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連 国庫補助金の廃止による各支給単価額の改定											
5. 本年度の計画効果											
1 事業計画 平成17年度から国庫補助対象事業ではなくなったため、支給単価変更及び支給費の検討を行った。 2 事業内容 学用品費・新入学用品・修学旅行に要する経費の助成 3 事業効果 就学にかかる必要経費の一部を補助することで保護者の経済的負担を軽減し円滑な義務教育の実施に貢献している。					6. 財源の説明 1 財源内訳 すべて一般財源 2 事務事業評価の反映状況 認定基準の見直し 統合・縮小						
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款 項 目	10 教育費 03 中学校費 03 学校建設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 5501000000	所属課名 庶務課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 中 小 細 事業	016 後藤ヶ丘中学校屋内運動場整備事業 00 00 0	0	0	6,500	3,000	0	0						
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
			0	0	0	0	3,000						
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
<p>事業の概要 後藤ヶ丘中学校旧体育館の一部補修。 鉄骨造 6 6 1 m 必要性 後藤ヶ丘中学校は学級数も多く、一つの体育館だけでは教育課程の履行が困難である。 しかし、旧体育館は、平成16年の台風により外壁が一部崩落しており、応急の仮囲いを行っているが不安定な状態である。 旧体育館は、道路に面しているため、通行する地域住民や生徒の安全面からも早急な補修が必要であり、体育館のステージも傷みが激しい状況である。 したがって、道路に面した外壁の補修とステージの補修を行うものである。</p>					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					13	委託料	0						
					15	工事請負費	3,000						
2. 根拠法令													
学校教育法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<p>本年度の計画 旧体育館の道路側の外壁補修及びステージの補修</p> <p>効果 安全面の確保及び教育環境の改善</p>													
6. 財源の説明													
1 財源													
すべて一般財源													
2 事務事業評価の反映状況													
評価結果 実施													
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5501000000				
項	03 中学校費							所属課名	庶務課				
目	03 学校建設費	0	0	20,000	10,000	0	0	内線番号					
大	020 中学校外壁等安全対策事業							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき			
小	00		0	0	0	0	10,000		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・			
細	0		0	0	0	0	0		0	節		豊かな心を育む学校教育の推進	
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
(1) 事業の概要 施設の老朽化等により、外壁からコンクリート片が剥落し、落下した学校の外壁の補修(錆鉄筋処理、クラック処理、モルタル浮き処理、庇天端面塗膜防水、外壁舗装)を行う。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
(2) 必要性 児童生徒が安全に学校生活を送ることができる。					15	工事請負費	10,000						
2. 根拠法令 学校教育法													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 事業計画 後藤ヶ丘中学校の第一鉄筋校舎と第二鉄筋校舎の外壁改修工事を行う。 また、緊急に外壁改修工事を行う必要が生じた建物の応急処理を行う。													
(2) 効果 外壁改修工事の必要な古い建物から改修工事を行い、児童生徒の安全な教育環境の整備を図る。													
6. 財源の説明													
1 財源内訳 一般財源													
2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・実施													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	10 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	5504000000					
					うち復活額	一般財源	所属課名	文化課						
069 伯耆の国よなご文化創造計画事業		2,479	2,759	32,599	3,108	0	0	内線番号						
大	069							伯耆の国よなご文化創造計画事業		実施計画計上額				
中	00							財源内訳	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源
小	00								0		900	0	0	2,208
細	0													
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
<p>(1) 事業の概要 「伯耆の国よなご文化創造計画」は、合併協議会で策定された重点プロジェクトとして、歴史文化の保護活用と掘起し、人材育成の推進と文化活動への支援、文化施設の機能整備と拡充、文化ネットワークの構築を図るために行う事業計画である。計画期間15年間。</p> <p>(2) 事業の必要性 「伯耆の国よなご文化創造計画」は、平成16年9月に米子市・淀江町合併協議会で策定した新市まちづくり計画の基本目標の一つである「ゆとりと豊かさのある生活文化のまちづくり」の具現化するために必要な事業計画である。</p>					区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額			
					1	報酬	224	都道	16	02	01	01	029	900
2. 根拠法令					4	共済費	0	鳥取県合併支援交付金						
3. 用地の状況					7	賃金	0							
4. 基本計画との関連					8	報償費	0							
5. 本年度の計画効果					9	旅費	0							
					11	需用費	64							
<p>1 事業計画</p> <p>(1) 仮称：よなごの宝（歴史文化）掘り起こし事業 「米子の史跡88選選定事業」の開催補助 交付先 「仮称：米子の史跡88選」選定事業実行委員会</p> <p>(2) 仮称：米子の景観88選事業 (交付先) 「仮称：米子の景観88選」事業実行委員会</p> <p>(3) その他審議会開催経費など</p> <p>2 効果 歴史文化のまちづくりに効果をあげる。</p>					12	役務費	20							
					13	委託料	1,000							
6. 財源の説明					19	負担金補助及び交付	1,800							
					25	積立金	0							
<p>1 財源内訳 鳥取県合併支援交付金・・・負担金補助及び交付金の1/2</p> <p>2 事務事業評価の反映状況 評価結果・・・実施 新市まちづくり計画において重点プロジェクトとして位置づけられた計画</p>														
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	10 教育費 05 社会教育費 02 公民館費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	5503000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	生涯学習課			
大 中 小 細事業	001 00 00 0	337,506	332,896	311,211	311,904	0	0	内線番号		実施計画計上額	
公民館運営費								国庫支出金 県支出金			地方債 その他 一般財源
財源内訳		0	0	0	2,885	309,019	本年度の財源内訳		0		
1. 事業の概要と必要性				節		本年度の財源内訳					
				区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額	
<p>(1) 事業の概要 生涯学習活動を推進・支援するため、社会の様々な教育機関を相互の関連性を総合的に考慮しつつ、地域における生涯学習活動の拠点である公民館の整備・充実を図るとともに、社会の変化や新たな状況に伴って、多様化・高度化する住民ニーズに対応した学習機会や学習情報の提供、学習相談など学習支援サービスの充実を図る。</p> <p>(2) 事業効果 公民館を拠点として、学習活動等で培った力や各種団体の実践活動の成果が地域で活かされ、住民の総合力をもって地域課題を解決し、より住みやすい地域づくりを推進することで、真の豊かさを実感できる地域社会の実現を図る。</p>				1 報酬 194,142		使用 14 01 05 01 003				103	
				4 共済費 27,403		職員駐車場使用料					
				8 報償費 26,632		使用 14 01 08 04 005				522	
				9 旅費 1,027		公民館使用料					
				11 需用費 34,517		使用 14 01 08 04 014				1,860	
				12 役務費 3,981		職員駐車場使用料					
				13 委託料 20,715		諸収 21 03 03 03 019				100	
				14 使用料及び賃借料 2,909		私用電話料(生涯学習課)					
				16 原材料費 44		諸収 21 03 03 03 153				300	
				18 備品購入費 332		洗濯機等使用料					
				19 負担金補助及び交付 202							
2. 根拠法令											
社会教育法第22条に基づく事業を行う。											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果											
<p>(1) 事業計画 地区公民館27館、分館2館の施設管理と運営 多様な生涯学習活動に対応した弾力的な施設運営 子どもや高齢者への配慮はもとより、利用者が安心して使用できる施設・設備の整備 生涯学習活動を支援する職員の配置と研修体制の充実 多様な学習機会の提供、学習ニーズの把握 地域における人材の活用と育成 学習成果を発表する場の提供</p> <p>(2) 職員体制 公民館職員体制 館長 29人、主任主事 29人、主事 56人 公民館運営審議会 17人</p>											
6. 財源の説明											
1 財源内訳											
一般財源並びに公民館使用料及び宇田川農村集落多目的共同利用施設使用料による。											
2 事務事業評価の反映状況											
公民館運営審議会 評価結果...現状維持											
公民館管理・運営事業 評価結果...効率化・改善											
公民館職員研修 評価結果...現状維持											
公民館他施設の管理 評価結果...現状維持											
目的別											
性質別											

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	5503000000										
項	05 社会教育費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	生涯学習課											
目	02 公民館費	10,000	9,008	20,580	18,500	0	内線番号												
大	007 公民館施設等整備事業(政策分)	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額								
中	00								章	『こころ』がいきいき									
小	00								節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・									
細	0								細節	生涯学習社会の実現									
								本年度の財源内訳											
								区分		金額		金額							
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業の概要 旧米子市・淀江町合併時に建替等の協議があった淀江公民館大和分館について、現状の建物を最大限有効活用し、より安全で快適な学習環境を提供するための増改築工事を行う。プライバシー保護の観点からトイレの男女別化を図り、また他目的トイレを設置する。トイレスペース確保の為、使用する倉庫の代替として倉庫を増築する外、1か所しかない大会議室を増改築して、活用しやすい会議室を確保する。 (2) 事業効果 利用者に対し、より使いやすい学習環境が提供でき、住民の幅広い利用が見込める。								12	13	14	15	18,500	地方	22	01	05	02	004	18,500
												社会教育施設整備債							
2. 根拠法令 社会教育法第21条の規定により、公民館は市町村が設置する。																			
3. 用地の状況																			
4. 基本計画との関連																			
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 公民館増改築工事及び男女別トイレ・多目的トイレ設置 (2) 事業効果 現在1箇所のみ会議室を増改築することで、2箇所(うち1箇所は分割可能)とし、市民により利用機会を提供する。 また、今までになかった倉庫スペースを確保することで、今まで以上に多様な事業の提供が可能となる。																			
6. 財源の説明 すべて起債																			
目的別 性質別																			

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5503000000						
項	05 社会教育費							所属課名	生涯学習課						
目	03 図書館費	16,715	16,715	8,215	14,372	0	0	内線番号							
大	002 図書購入費							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額				
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき					
小	00		0	0	0	0	14,372		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・	0				
細	0								細節	生涯学習社会の実現					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
(1) 事業の概要					区分		金額		財源		款	項	目	節	金額
市立図書館において市民の利用に供するための図書、記録、視聴覚資料の充実を図り、市民の文化的教養を高め得るような環境を整備する。特に、調べ学習、図書館見学、図書館実習等図書館における子どもの学習機会が増加している。そのニーズに対応するため、児童図書の充実を図る。また、平成16年度に作成した図書館7ヶ条に基づき、ビジネス支援としての資料収集を実施する。					11	需用費	1,372								
(2) 事業効果					18	備品購入費	13,000								
図書館を基幹とする学校間の物流が本格化し、学校配本が急激に増加し定着している。幅広い年代層の学習を支援することで、市民の文化的教養が高まっている。															
2. 根拠法令															
図書館法第3条に規定する業務															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画															
図書館用図書及び資料、雑誌、新聞等の購入															
児童図書の充実、特に、子育て支援センター及び企業内保育園への団体貸出															
就学前児童書の購入、参考資料の充実															
調べ学習用学校への貸出児童図書の補充															
ヤングアダルト(小学校高学年、中学生用)図書の充実(団体貸出)															
大活字本の充実															
平成19年度要求額は、経常8,215千円 + 枠外8,000千円 = 16,215千円															
6. 財源の説明															
すべて一般財源															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	6005000000				
項	05 社会教育費							所属課名	淀江分室				
目	10 文化財保護費	78,800	75,316	69,000	69,000	0	0	内線番号					
大	010 史跡上淀麿寺跡保存整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	ゆとりある心豊かな米子			実施計画計上額
中	00								章	『こころ』がいきいき			
小	00								節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・			
細	0								細節	貴重な歴史的遺産の保存と活用			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
1. 事業概要 淀江町福岡地区に所在する全国有数の古代寺院史跡上淀麿寺跡の歴史環境整備を行う。「伯耆古代の丘整備事業」の一環として、旧淀江町において平成11年度から事業開始。18年度からは国の大型事業「史跡等総合整備活用推進事業」として取組み、地形及び発掘発掘状況の復元、1/10伽藍模型、ガイダンス施設、解説広場、遺構表示等を整備する予定で、平成19年度は中心伽藍の地形復元等を計画している。					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額	
2. 必要性 優れた文化財の保存活用は、地域の文化観光の向上振興に極めて有効であり、「伯耆の国よなご文化創造計画」の中核事業として進行中である。					4 共済費	2	国庫	15	02	06	04	005	34,500
2. 根拠法令 文化財保護法 文化財を活かしたモデル地域づくり事業（H9文化庁、建設省選定）					7 賃金	327							
3. 用地の状況					8 報償費	84	都道	16	02	06	02	014	11,500
4. 基本計画との関連					9 旅費	591							
5. 本年度の計画効果 (1) 中心伽藍の地形復元仕上げ (2) 中心伽藍塔・金堂の型取りレプリカ設置、復元展示 (3) 中心伽藍、後背地の表示・解説板設置 (4) 整備工事設計監理 (5) ガイダンス施設実施設計 (6) 整備検討委員会の開催					11 需用費	143	地方	22	01	05	02	003	23,000
					12 役務費								
					13 委託料	16,012							
					14 使用料及び賃借料								
					15 工事請負費	51,841							
					6. 財源の説明 1 財源内訳 史跡等保存整備費補助金（国1/2、県1/6） 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5504000000		
項	05 社会教育費							所属課名	文化課		
目	10 文化財保護費	29,629	24,424	22,958	22,300	0	0	内線番号			
大	014 埋蔵文化財センター整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額
中	00								『こころ』がいきいき		
小	00								豊かな心を育む人権・教育と歴史・		
細	0								貴重な歴史的遺産の保存と活用		
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳			
1 概要					区分			金額			
既存の収蔵センター機能に加え、地域の埋蔵文化財の適切な保存管理、積極的な公開・活用、調査、研究などの機能をもつ拠点施設整備を実施する。					4 共済費			4 国庫			
2 必要性					7 賃金			808 国庫			
埋蔵文化財は、地域に根ざした歴史・文化のシンボル、心の拠り所とするため積極的な活用及び適切な保存が強く求められており、今後その意義は増していくと考えられる。					9 旅費			7 都道			
一方では、現状の収蔵センターは、ほぼ満杯の状況であり、今後の資料増加に耐え得る保管スペースが不足し、地震等への防災対策も不十分である。また、これまでに蓄積された発掘調査成果を再整理し確実に保存、活用することや学校教育、生涯教育から求められている体験学習、講座等への対応も十分とはいえない状況にある。					11 需用費			1,075 都道			
					12 役務費			633 地方			
					13 委託料			1,473 地方			
					14 使用料及び賃借料						
					15 工事請負費			17,000 地方			
					18 備品購入費			1,300 地方			
2. 根拠法令											
文化財保護法											
3. 用地の状況											
喫緊の課題である旧日新小学校跡地を利用する。											
4. 基本計画との関連											
新米子市総合計画に位置付けられた事業計画である。											
5. 本年度の計画効果											
(1) 施設整備概要											
19年度整備概要											
・実施設計											
・特別収蔵室整備											
・空調設備工事(特別収蔵室、写場、調査研究室、展示室)											
・旧日新小の建物の維持管理											
(2) 効果											
埋蔵文化財の適切な保存管理、積極的な公開・活用、調査、研究の拠点施設が整備され、学校教育などに対応した歴史学習に効果をあげる。											
6. 財源の説明											
(1) 財源の積算基礎											
国庫補助金 補助対象経費の50%											
県費補助金 補助対象経費の25%											
社会教育施設整備事業債											
(2) 事務事業評価の反映状況											
評価結果・・・条件付実施											
国庫補助、県費補助を活用する。既存の収蔵センター事業、分室の整理事業との統廃合を整備終了後に実施する。											
目的別											
性質別											

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	6005000000							
項	05 社会教育費							所属課名	淀江分室							
目	10 文化財保護費	39,780	39,780	31,390	15,438	0	0	内線番号								
大	019 史跡上淀麿寺跡買上事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額				
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき						
小	00		12,350	1,029	0	0	2,059		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・		0				
細	0									細節	貴重な歴史的遺産の保存と活用					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳								
(1) 事業の概要 伯耆古代の丘整備事業の一環として整備を進めている史跡上淀麿寺跡の追加指定地(平成17年7月14日追加指定)について、より効果的な保存活用を進めるため公有地化を図る。国の史跡等買上げ事業を活用し、平成18年度から、追加指定地30筆:12698.10mのうち民有地19筆:11052.67mを対象に取組んでいる。 (2) 事業効果 平成16年度から実施している整備事業は、追加指定地の公有地化を前提に進めているものであり、事業のスムーズな遂行を図ることができる。					区分		金額		財源	款	項	目	節	細節	金額	
					9	旅費			国庫	15	02	06	04	007		
2. 根拠法令 文化財保護法					11	需用費		10								
					12	役務費		84	都道	16	02	06	02	016		1,029
					13	委託料		0								
					17	公有財産購入費		13,756								
					22	補償補填及び賠償金		1,588								
3. 用地の状況 民有地																
4. 基本計画との関連																
5. 本年度の計画効果																
(1) 事業計画 土地購入 不動産鑑定 用地測量					6. 財源の説明											
					1 財源内訳 国庫補助額 8 / 10 県費補助額 1 / 15 市費負担額 2 / 15 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...現状維持											
目的別 性質別																

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5502000000				
項	06 保健体育費							所属課名	学校教育課				
目	01 保健体育総務費	67,722	77,216	56,372	62,822	0	0	内線番号					
大	003 準要保護児童生徒給食扶助費							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき			
小	00		0	0	0	0	62,822		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・	0		
細	0								細節	豊かな心を育む学校教育の推進			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
1 事業概要 学校給食費として徴収される実費を対象として、準要保護児童生徒の保護者に対して助成する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
2 事業効果 給食費は、学校において食事の実践を通して行う教育上欠くことのできない緊急性を持つものであり、経済的な理由により、学校給食費の支払いが困難な準要保護児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施が可能となる。					20	扶助費	62,822						
2. 根拠法令 学校教育法第25条、学校給食法第7条													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
1 事業内容 準要保護児童生徒の保護者に対し給食費の一部を補助する。(保護者に一部負担を求め る。)													
2 事業費の積算基礎 給食単価の7割相当額を助成 1食あたりの助成額 小学校183円 中学校27円 淀江中学校 216円													
6. 財源の説明													
1 財源内訳の積算基礎 全て一般財源(平成17年度に国庫補助金廃止)													
2 事務事業評価の反映状況 統合・縮小													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5507000000												
項	06 保健体育費							所属課名	学校給食課												
目	04 給食施設費	0	0	14,000	7,000	0	0	内線番号													
大	017 食器購入事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額										
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき											
小	00		0	0	0	0	7,000		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・											
細	0		0	0	0	0	7,000		細節	豊かな心を育む学校教育の推進											
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳													
(1) 事業概要 平成12年度の現行食器購入当初に耐用年数がおおむね5年と言われていたが、学校給食では夏休み、冬休みなどがあり、年間100%使用しておらず劣化も進んでいなかったようなので引き続き使用していた。平成18年度夏以降外側のポリプロピレンと内側のステンレスが剥れるものが多数出てきており随時交換してきたが、今年度残りの食器の更新を行う。 (2) 事業効果 更新することにより安心して衛生的な学校給食を提供することができる。								節		金額		財源		款		項目		節		金額	
								11	需用費		7,000										
2. 根拠法令																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
事業計画 食器更新数 学校給食用食器 10,000枚程度の更新																					
6. 財源の説明																					
1 財源内訳 一般財源による 2 事務事業評価の反映状況 評価結果...効率化・改善 未補充部分のみを更新することにより効率化・改善を図った。																					
目的別																					
性質別																					

歳出予算事業概要書

款	10 教育費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5507000000					
項	06 保健体育費							所属課名	学校給食課					
目	05 給食施設整備事業費	279,312	275,154	1,142,604	1,072,525	0	0	内線番号						
大 事業	001 小学校給食調理場整備事業							実 施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子		実施計画計上額		
中 事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき				
小 事業	00		79,045	0	984,600	0	8,880		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・		0		
細 事業	0								細 節	豊かな心を育む学校教育の推進				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
1 事業の概要					区分			財源			金額			
学校給食センターの新築					9 旅費			13 国庫			15 02 06 05 003		79,045	
2 事業の必要性					11 需用費			12 役務費			学校給食施設整備事業費補助金			
学校給食センターは、昭和48年に建設されたものであり、老朽化が著しく、「学校給食衛生管理の基準」に準じた施設に整備することで、施設内の温度管理の改善、細菌の発生を抑制し、食中毒の発生防止を講ずることができ、安心・安全な給食を提供することができる。					12 802			13 802			地方		22 01 05 03 001	984,600
					14 使用料及び賃借料			15 745			学校給食施設整備事業			
					15 工事請負費			17 850,000						
					17 公有財産購入費			18 218,000						
					18 備品購入費			19 965						
					19 負担金補助及び交付									
2. 根拠法令														
学校給食法														
3. 用地の状況														
平成18年度土地取得 土地取得面積4,199.91㎡														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
事業計画														
鉄骨造一部2階建 延べ面積 2,034㎡														
食数 約5,000食														
事業内訳 建設工事費、厨房設備等備品、消耗品等														
6. 財源の説明														
1 財源の説明														
国庫補助金 共同調理場(4,001人~5,000人)														
補助単価204,800円×補助面積862㎡×補助率1/3=58,845千円														
付帯設備(4,001人~5,000人)														
補助対象額60,600千円×補助率1/3=20,200千円														
残りは、地方債及び一般財源とする。														
2 事務事業評価の反映状況														
評価結果...現状維持														
学校給食施設の衛生管理を徹底するため学校給食センターの改築をする														
目的別														
性質別														